

令和2年度
教育委員会の点検・評価
報告書

令和3年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- スクールサポーター配置事業
- 二期制
- 英語教育の推進
- 教育相談センター事業
- Ama Teachers College
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
- 県委託事業
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- 学校支援会議
- 学校運営協議会
- あまっ子宣言
- 弁当の日
- 全国大会等出場報奨金
- 小中学校 I C T 化推進事業
- 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 公民館事業
- 成人式事業
- シルバーカレッジ事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権啓発推進事業
- 子ども・若者支援事業
- 地域学校協働活動事業
- あま発未来創造塾
- 生涯学習推進計画策定事業
- 社会教育団体育成事業
- 社会教育施設整備事業
- 歴史民俗資料館事業
- 文化財保護啓発事業
- 文化財施設整備事業
- 文化の杜指定管理事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業
- 文化会館施設整備事業

(3) スポーツ課

- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 社会体育団体育成事業
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業
- あま市スポーツ推進計画の策定

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

■新学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表します。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校が休業となったり、各種事業が中止になるなど、大きな影響がありましたが、関係者の努力により、各分野において出来る限り効果が上がるような取り組みがなされました。

2. 教育委員会会議の開催状況

令和2年度は定例会を12回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（令和3年3月31日現在）

職名	氏名	任期
教育長職務代理者	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日～平成27年6月24日 平成27年6月25日～令和元年6月24日 令和元年6月25日～令和5年6月24日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成24年6月24日 平成24年6月25日～平成28年6月24日 平成28年6月25日～令和2年6月24日 令和2年6月25日～令和6年6月24日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成26年6月24日 平成26年6月25日～平成30年6月24日 平成30年6月25日～令和4年6月24日
委 員	さとう あけみ 佐藤 明美	平成28年6月25日～平成29年6月24日 平成29年6月25日～令和3年6月24日
委 員	みぞぐち まさみ 溝口 正己	平成29年6月25日～令和3年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日～平成26年6月24日 平成26年6月25日～平成29年3月31日 平成29年4月1日～令和2年3月31日 令和2年4月1日～令和5年3月31日

(2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
令和2年 4月21日（火）	午後2時	1件	11件
5月27日（水）	午後2時	2件	6件
6月26日（金）	午後2時	6件	6件
7月17日（金）	午後2時30分	6件	5件
8月25日（火）	午後2時	2件	11件
9月24日（木）	午後2時	4件	4件
10月26日（月）	午前10時	2件	6件
11月24日（火）	午後2時	2件	8件
12月22日（火）	午後2時	3件	3件
令和3年 1月18日（月）	午後2時	2件	7件
2月25日（木）	午後2時	10件	8件
3月24日（水）	午後2時	10件	15件

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「後援申請」、「教科用図書の採択」など50件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議の他にも委員は様々な活動をしました。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	30回
○教育長用務	51回
○学校教育課事業	46回
○生涯学習課事業	12回
○スポーツ課事業	2回
○学校給食センター課事業	3回
○市行事	95回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月（平成31年4月最終改訂）に「あま市教育立市プラン」を策定し、この具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置事業（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置事業（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育の推進
- 特色ある学校づくり推進事業
- キッズ防犯体験教室事業
- 教育人材バンクと出前授業
- 教員研修「Ama Teachers College」
- コミュニティスクール推進事業
- 地域学校協働活動推進事業
- 小中学校ICT化推進事業
- 公民館事業
- シルバーカレッジ事業
- 子ども・若者支援事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 学校給食事業
- 新学校給食センター整備事業

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の育成及び向上を目指し、T T (*) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

(*) T T…… チーム・ティーチング。担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター（教職補助員）がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

スクールサポーター配置数

(延べ人数)

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
七宝小学校	4 人	篠田小学校	5 人	七宝中学校	7 人
宝小学校	4 人	美和東小学校	7 人	七宝北中学校	5 人
伊福小学校	7 人	甚目寺小学校	8 人	美和中学校	6 人
秋竹小学校	3 人	甚目寺南小学校	10 人	甚目寺中学校	7 人
美和小学校	6 人	甚目寺東小学校	9 人	甚目寺南中学校	6 人
正則小学校	5 人	甚目寺西小学校	6 人		

(複数校勤務者については各校で人数に計上しています。)

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T Tの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

● 通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒は年々増加しています。

令和3年度も学習支援などを有効に進めていけるよう、スクールサポーターをより一層効果的に活用していきます。

■二期制

市内全小中学校において、二期制を実施しました。

○あま市二期制の経緯

- ・平成19年度から、七宝北中学校において学校目標を実現させる手立ての一つとして二期制を実施
- ・合併後、七宝北中学校を二期制の研究校とし、教育委員会の承認を受け二期制を継続実施
- ・平成29年度から、市内5中学校において二期制を実施
- ・平成30年度から、市内全小中学校において二期制を実施

○二期制の概要

- ・従来の三学期制のまま、1年を前期と後期の二期に分ける。
入学式・始業式→夏休み→引継ぎ式→冬休み→卒業式・修了式
- ・二期制実施状況を把握するため、毎年2月に、市内全校において保護者、中学校生徒、教員にアンケートを実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2か月の臨時休業、夏休み中の授業実施、様々な活動や行事の中止や縮小等により異例の一年間を過ごし、例年との比較が難しいため、保護者、中学生、教員へのアンケートは行わず、校長のみにアンケートを行いました。アンケートの結果（一部抜粋）は以下のとおりです。

○アンケートの結果（二期制のメリット）

- ・長いスパンで評価活動を行うことで、個々の児童生徒の学習状況をより多面的に把握することができる。通知表作成に係る教員の事務作業量を軽減することで、児童生徒の支援に係る時間をより多く確保することができる。
- ・評価の期間が長くなるので評価資料も増え、評価にじっくり取り組み、より正確な評価ができる。
- ・小学校は今年度から、10月に通知表を渡しながらの懇談にしたので、保護者にも説明もしやすい。
- ・新学習指導要領のものと新しい評価、教員にとっても所見が学年末一回になり、すべてがスムーズに進んだ。
- ・コロナウイルス感染症が感染拡大して夏休みが短くなっても、二期制なので、終わりも始まりもスムーズに対応できた。

※ アンケート結果からも分かるとおり、二期制であることにより、コロナ禍での対応がしやすかった等、二期制のメリットを活かすことができます。

- 令和3年度は、例年行っていたアンケートを再開し、保護者、中学生、教員の声を集約し、よりよい二期制のあり方についての検討を積み重ねていきます。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、外国人（5人）と邦人（5人）の非常勤講師を英語指導助手（ALT）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- （1）中学校の英語科授業における英語指導
- （2）小学校の英語活動における英語指導
- （3）授業で使用する教材の作成
- （4）教員に対する現職研修
- （5）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- （6）研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 10人（アメリカ、カナダ、イギリス、日本）
- ・中学校：英語指導助手 5人（アメリカ、カナダ、イギリス）

※ 各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

- 令和2年度から新学習指導要領全面実施に伴い、小学校中学年は年間35時間の外国語活動、小学校高学年は年間70時間の外国語科が実施されています。今後も引き続き、ALTなどの人的環境やICTなどの物的環境を整備していく必要があります。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」を三つの柱として事業を実施しました。

○学校教育支援事業

子ども同士の関わりを大切にした学級経営や授業の改善を進めるため、また、各学校の教科指導や児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招く「教育アドバイザー派遣事業」等を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣 2件

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や特別支

援教育への援助、学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

- 【職員】
- ・教育相談支援員 4人
 - ・心理相談員 3人
 - ・学校支援アドバイザー 1人
 - ・親と子の相談員 2人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

- ・保護者 977件
- ・児童生徒 1,471件
- ・教職員 2,610件
- ・教室訪問 1,110件 合計 6,168件

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校が休校となったことや、学校への人の出入りを最小限度としたこと等から前年度と比較して減少しました。

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。また、不登校対策として「子どもの自立を支える親の会」を実施しました。

- 【職員】
- ・専任指導員 1人
 - ・指導員 4人
 - ・派遣指導員 2人

- 【通室者】
- ・令和2年度：適応指導教室の登録者数 40人
令和元年度よりの継続 24人
令和2年度新規登録者 16人
 - ・適応指導時間数 延べ1,133時間
 - ・令和2年度：適応指導教室の登録者の歩み
学校復帰 11人
卒業 中学3年生 9人（進学者数 9人）
 - ・子どもの自立を支える親の会 年間4回

※ 学校教育支援、教育相談、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実させる事業をすることができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

- 令和3年度も、継続して「子どもの自立を支える親の会」を開催していきます。不登校児童生徒やその親に対して不安を和らげ、周りにつながれるよう、一人ひとりの状況を丁寧に把握し、支援していきます。また、新たな一人を生み出さないためにも市教育委員会や学校と連携を図りながら児童生徒支援を進めていきます。

■Ama Teachers College

教師が日頃いろいろな問題に出会い、その解決に戸惑う場面に突き当たる時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることをねらいとして講座を開催する予定でしたが、令和2年度は夏休み中に各小中学校で授業を行ったため、夏休み中に予定されていた講座は、一部を除き中止しました。

○講座

回	開催日	講座名	講師（敬称略）	参加人数
1	5月20日（水）	教育論文の書き方	神田 直也	20人
2	7月22日（水）	考え議論する道德の授業づくり	七宝小学校 鈴木 賢一	中止
3	7月27日（月）	子どもたちの意欲を高める授業づくり～学習に対する動機づけを通して～	岐阜聖徳学園大学教授 安藤 史高	中止
4	7月28日（火）	プログラミング学習、その指導法とコツ	岐阜聖徳学園大学准教授 芳賀 高洋	中止
5	7月29日（水）	発達障がいのある子どもの接し方 理解と支援	岐阜聖徳学園大学教授 安田 和夫	中止
6	7月30日（木）	授業力アップ！板書講座Ⅱ〈応用編〉	後藤 信英	中止
7	7月31日（金）	小中連携を意識した外国語授業の在り方 ～小学校での学びを中学校で生かすために～	愛知教育大学教授 高橋 美由紀	中止
8	8月5日（水）	発達が気になる子への環境づくり	あま市相談センター 臨床心理士	中止
9	8月25日（火）	主体的・対話的・深い学び、それには人と関わるためのトレーニングがかかせません ～週に10分！七宝中「しっぴータイム」の実践を通して～	七宝中学校の先生方	中止
10	8月26日（水）	生き生きと響き合う歌声を目指して	岐阜聖徳学園大学教授 荒木 善子	中止
11	12月24日（木）	うれしい道德を実現する	岐阜聖徳学園大学教授 龍崎 忠	28人

○特別研修

回	開催日	講座名	講師（敬称略）	参加人数
1	5月8日（金）	四役の仕事とは？	あま市教育長 松永 裕和	19人
2	7月21日（火）	あま市の教育について	あま市教育長 松永 裕和	中止
3	7月28日（火）	動画をホームページへアップロードする方法	七宝小学校教諭 鈴木 賢一 学校教育課主幹 岸 稚人	8人
4	2月26日（金）	GIGAスクール構想への対応について	情報教育アドバイザー 塚本 まゆ	20人

※ 教育論文の書き方、道德の授業作り、GIGAスクール構想に関する研修など、校内では十分に行うことのできない内容について研修することができました。

● 今後も、教員の資質や力量向上を目指し、教職員が参加したくなるような内容の研修会を企画していきます。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでおり、児童生徒数の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、未来を担う子ども達「あまっ子」をとりまく教育・学校運営等の面における適正な学習

環境の構築を目的に、令和２年度は２地区において市民等の意見を聴きながら検討をしました。

○七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度

七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度は、令和３年度入学予定者から２件の申請があり、２件認定しました。

・七宝北中学校通学制度連絡調整会

七宝北中学校通学制度連絡調整会を開催し、七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度について検証を行いました。

連絡調整会（２回開催）

８月８日、１月１９日（書面会議）

※ 七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度は、令和２年度４月新入学生分から開始し、令和３年度新入学生分で２年間実施しています。この間、連絡調整会により啓発及び申請認定実績をも重ねてきました。

- ２年間の通学制度の実施により、通学制度は導入期を終えたと判断し、七宝北中学校通学制度連絡調整会は令和２年度をもって廃止しました。今後は継続的に実施される一般施策として検証を進めていきます。

○甚目寺東小学校・正則小学校地区委員会

甚目寺東小学校、正則小学校にて地区委員会を開催し、学校間交流・地域間交流の今後の方向性について意見を聴取しました。

・各地区委員会（２回開催）

１２月１８日（甚目寺東小学校）、１２月２１日（正則小学校）

※甚目寺東小学校と正則小学校で地区委員会を開催し、学校間交流による両地区を始めとするあま市内各地区の情報交換を通じた理解を互いに深めること、地域住民の意識の醸成を図ることについて、意見を聴取し、個別の地区を限定した議論ではなく、市内の各小中学校のあり方全体について検討する必要がある旨の報告書を受けました。

- 平成２３年１２月に「あま市立小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書」があま市立小中学校適正規模等検討委員会から教育委員会へ提言され、平成２４年１２月に教育委員会は基本的な基本方針を策定しました。この提言書の提出から１０年が経過しようとするなか、その間に公共施設等総合管理計画などが策定され、環境は大きく変化しています。この提言書に基づいて実施されてきた地区委員会等を総括し、公共施設等総合管理計画など他の計画と整合性のとれた、今後の学校のあり方に関する新たな基本方針を教育委員会が策定するため、外部有識者等が参加する附属機関に準じる機関として、令和３年度は「あま市小中学校あり方検討委員会」を設置し、広く意見を聴取します。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は令和２年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～仲間とともに人権課題に向き合い、自他を尊重する実践的態度を養うために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

・会 長 伊福小学校長

・事業費 ８００，０００円（市補助金）

・主な活動内容

（１）全国人権・同和教育研究大会等参加

（２）研究紀要の作成

○海部地区人権教育講演会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を

通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取組の継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

- 令和3年度も「部落差別の解消の推進に関する法律」（H28. 12施行）の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

■県委託事業

○キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」（全中学校）

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため、全中学校の2年生を対象に職場体験学習を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒が事業所へ出向いて直接体験をする形態は中止となりました。

1年生を対象に、様々な職業に対する知識や、職場体験学習に対する理解と意欲を高めるためのガイダンス事業を行いました。また、3年生を対象に、講師の講話を聞いたり、将来の生き方について考えを発表したりすることにより、働くことや学ぶことに対する意欲を向上させるためのプレゼンテーション事業を行いました。

・事業費 258,923円（うち県委託金 170,000円）

学校名	職場体験学習 参加生徒数 (2年生)	実施日	受 入 事業所数
七宝中学校	0名	中止	0か所
七宝北中学校	0名	中止	0か所
美和中学校	0名	中止	0か所
甚目寺中学校	0名	中止	0か所
甚目寺南中学校	0名	中止	0か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

- 令和3年度も、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できるキャリア教育を推進していきます。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 3,597,991円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

9月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。

・各校の令和2年度事業名

学校名	事業名
七宝小学校	(1)豊かな心や健やかな体の育成 (2)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 (3)学校・家庭・地域が連携・協働し「つながる」学校づくり
宝小学校	(1)郷土を愛し、理解する活動（七宝焼づくりを通して） (2)ふれあい・学び合いを生かした活動
伊福小学校	(1)豊かな心を育む活動事業 (2)自分の命は自分で守る子を育てる活動事業 (3)主体的・対話的で深い学びに向けての学級経営、授業改革をめざす事業
秋竹小学校	(1)ふれあい・学び合いを生かした学習指導 (2)豊かな心とたくましい体を育む教育活動 (3)ふれあいを大切にしたい体験活動
美和小学校	(1)教師力アップ事業（現職教育） (2)『社会と結びつく美和小の子どもたち』事業①「地域交流と情報発信」 (3)『社会と結びつく美和小の子どもたち』事業②「発見！ワールド」 (4)『社会と結びつく美和小の子どもたち』事業③「キャリア教育」 (5)情報モラル事業
正則小学校	(1)地域との連携 (2)豊かな心の醸成と健康づくり (3)指導力向上
篠田小学校	(1)よりよく考え、自ら学ぶ子の育成 (2)心豊かで思いやりのある子の育成 (3)命の学習
美和東小学校	(1)つながりつなぐ東っ子ー新たな伝統づくりに挑むー
甚目寺小学校	(1)ユネスコスクール推進事業①甚小タイム活動 (2)ユネスコスクール推進事業②教師の力量向上事業 (3)ユネスコスクール推進事業③人とつながる活動 (4)ユネスコスクール推進事業④校内環境整備 (5)ユネスコスクール推進事業⑤学校行事サポート
甚目寺南小学校	(1)甚南小仲間づくり事業 (2)自他を大切にする心の育成事業 (3)授業力向上事業
甚目寺東小学校	(1)人権教育推進事業 (2)専門的な知識・技術をもつ外部人材の教育力活用事業 (3)豊かな人間関係を築く異学年交流ふれ合い活動
甚目寺西小学校	(1)体験と交流を通して (2)授業力アップで子どもたちの成長と幸福を
七宝中学校	(1)自他の良さを認め合い、主体的に学び続ける生徒の育成 (2)基礎学力を向上し、分かる楽しさを実感する生徒の育成 (3)自己を見つめ、他人を思いやる心の育成
七宝北中学校	(1)「合唱」を中心に小中学校が連携して進める豊かな心を育成する教育活動 (2)地域の教育力活用事業 (3)豊かな心を育み感謝の気持ちを表す活動
美和中学校	(1)指導力向上（授業力向上に重点を置いた研修） (2)豊かな人間性の育成
甚目寺中学校	(1)実社会へ出るための人間力づくり活動

甚目寺南中学校	(1)教師の資質向上を図り、学校の教育力を高める事業 (2)地域と育むモラル向上に関する事業 (3)夢を持ち自己実現に向けて努力できる生徒の育成を目指す啓発活動
---------	--

- ※ 9年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。
- 審査会を実施することで、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりを目指し、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

■キッズ防犯体験教室事業

- ・事業費 374,000円（全小学校合計）
- ・実施校 11小学校（3年生のみ）

自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室を実施しました。紙芝居を用いた分かりやすい説明や実際の状況を想定した訓練体験により、防犯意識を向上させました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	1月14日（木）	篠田小学校	1月26日（火）
宝小学校	12月11日（金）	美和東小学校	12月14日（月）
伊福小学校	11月17日（火）	甚目寺小学校	12月4日（金）
秋竹小学校	11月18日（水）	甚目寺南小学校	事業中止
美和小学校	12月15日（火）	甚目寺東小学校	9月23日（水）
正則小学校	12月9日（水）	甚目寺西小学校	11月25日（水）

- ※ 児童が不審者から身を守るための方法を身に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。
- 令和3年度も見守り隊やPTAに参加していただき、地域との連携を図っていきます。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、学校の依頼に応じて次の活動を行います。

- ・講師は登録された分野に係る指導、講座の実施等
 - ・学校支援ボランティアは登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援
令和2年度登録人数 38人
 - ・「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止しました。
- また、小学校高学年の希望者を対象にした「あま市ものしりジュニア選手権」も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止しました。

- ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの取組が中止となりました。
- 今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やし、学校が必要とする人材に関する

情報を提供していきます。また、「あま市ものしりジュニア検定」をはじめとしたふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（通称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

令和2年度は、甚目寺東小学校（7月、10月、11月、3月）・伊福小学校（10月）から要請があり学校支援会議を行いました。

- ① 家庭への働きかけや保護者に対する指導
- ② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請
- ③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方がよいと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

- ① あま市教育委員会（指導主事など）
- ② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

・会議の必要に応じて招集するメンバー

- ③ 海部児童・障害者相談センター
- ④ 警察関係者
- ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）
- ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
- ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立しています。甚目寺東小学校においては、不登校及び障がいのある児童への対応について、伊福小学校においては、生徒指導及び家庭問題について、連携機関と情報交換を行い、各機関の対応可能な内容の確認と、それぞれの受け持ちについて確認することで、学校を支援しました。

● 今後も、必要に応じて「あま市学校支援会議」を開催することで、学校と家庭・地域などが連携・協働して問題解決に向けて取り組んでいきます。

■学校運営協議会（コミュニティスクール）

あま市では、平成29年度に七宝小学校で、平成30年度は、宝、伊福、秋竹、正則、甚目寺小学校で学校運営協議会を設置しました。令和元年度からは、すべての小中学校に設置して、保護者、地域住民と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育てる地域に密着した学校づくりを推進しています。

○主な取組内容

- ・読み聞かせボランティアによる児童への読み聞かせ
- ・見守り隊等による登下校の見守り活動
- ・生活科の授業における野菜作りや昔の遊び体験の支援
- ・総合的な学習の授業における稲作や地域の歴史や伝統の学習の支援
- ・敷地内の除草、修繕等の環境整備の支援

※ 学校と保護者、地域住民が連携・協働して、子どもたちを育てる学校づくりを進

めることができました。

- 今後も、コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会において、学校が地域住民等と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育む地域に密着した学校づくりを推進していきます。

■あまっ子宣言

あまっ子宣言の下敷きを作成し、新入学児童に配布しました。

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

- 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいます。

■弁当の日

弁当の日を市内全ての小中学校で実施しました。児童生徒が自分の弁当を自ら準備する活動を通して、食への関心を高めたり、食事の用意をする家族への感謝の気持ちをもたせたりすることをねらいとしています。また、そのような活動を行うことで、児童生徒の自立心が培われます。

○主な取組内容と実施日

- ・手作り弁当を持参して各教室で会食会を開く。
- ・家で作ったおにぎらずを学校に持ってくる。
- ・小中交流会に手作り弁当を持参する。
- ・家庭科で準備し学級ごとに会食する。

学校名	実施日	対象学年
七宝小学校	12月14日（月）	6年生
宝小学校	10月19日（月）	6年生
伊福小学校	11月18日（水）	6年生
秋竹小学校	10月19日（月）	6年生
美和小学校	11月30日（月）	6年生
正則小学校	11月24日（火）	5・6年生
篠田小学校	11月18日（水）	6年生
美和東小学校	11月30日（月）	6年生
甚目寺小学校	12月7日（月）	6年生
甚目寺南小学校	12月7日（月）	6年生
甚目寺東小学校	12月7日（月）	6年生
甚目寺西小学校	12月7日（月）	6年生
七宝中学校	9月14日（月）	1年生
七宝北中学校	10月19日（月）	全学年
美和中学校	1月25日（月）	1年生
甚目寺中学校	12月7日（月）	1年生
甚目寺南中学校	12月7日（月）	1年生

○児童生徒アンケート

- ・玉子焼きが意外にうまくできたので、うれしかったです。普段あまり料理はしないので、少し不安でしたが、お母さんが手伝ってくれたので簡単にできました。いつか誰の手も借りずに一からやってみたいと思いました。お母さんは、

朝早くからこんな思いをしてつくっているんだなと思いました。

- ・お弁当を作って、いつもお母さんが作っていることが、すごく大変で、ありがたいことだと思いました。とても時間がかかってしまったけれど、楽しかったです。野菜が少ないと思ったので、次は、野菜を多くしてバランスのいいお弁当にしたいと思いました。
- ・早起きするのが少し嫌だったけれど、おいしく作ることができたので、とてもよかったです。片付けも嫌だけど、しっかりやりたいです。そして、僕たちのために食事を作ってくれる親や給食センターの人達はすごいと思いました。

※ 児童生徒のアンケートからも、弁当の日の取組を通してねらいに迫ることができたと考えています。

- 今後も取組を継続していくことで、市内全ての児童生徒に弁当の日の活動を通して自立心などを培っていきます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

・出 場 者

世界選手権	0 人
国際大会	0 人
全国大会	3 2 人・2 団体

・事 業 費 2 0 5, 0 0 0 円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

- 教育、文化又はスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、報奨金を交付することにより、市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上を奨励します。

■小中学校 ICT 化推進事業

国が提唱する「GIGAスクール構想」を実現するため、義務教育段階の児童生徒1人1台端末環境の実現と、市内小中学校に高速大容量の情報通信ネットワーク環境を構築しました。

○あま市教育課題検討委員会（GIGAスクール構想への対応について）

・第1回 10月28日（水）

- (1) 1人1台端末（タブレット）の活用に向けての教職員研修について
- (2) 1人1台端末（タブレット）の授業での活用（実践事例集等）について
- (3) 1人1台端末（タブレット）導入後のコンピュータ室の活用について
- (4) その他

・第2回 12月3日（木）

- (1) 1人1台端末（タブレット）の活用に向けての教職員研修について
- (2) 1人1台端末（タブレット）の授業での活用（実践事例集等）について
- (3) 1人1台端末（タブレット）導入後のコンピュータ室の活用について
- (4) その他

・第3回 1月20日（水）

- (1) 1人1台端末（タブレット）の活用に向けての教職員研修について
- (2) 1人1台端末（タブレット）の授業での活用（実践事例集等）について
- (3) 1人1台端末（タブレット）導入後のコンピュータ室の活用について
- (4) その他

・第4回 3月9日（火）

- （1）1人1台端末（タブレット）の活用に向けての教職員研修について
- （2）1人1台端末（タブレット）の授業での活用（実践事例集等）について
- （3）1人1台端末（タブレット）導入後のコンピュータ室の活用について
- （4）その他

- 教育課題検討委員会は、令和3年度も引き続き開催し、学校現場の声を施策に反映させるため、意見を聴取します。

○GIGAスクール構想への対応に向けた研修

- ・導入期 導入に向けたイメージづくり実施
「GIGAスクール構想へのイメージづくり」
令和3年2月26日 伊福小学校

- 令和3年度は、1人1台端末（タブレット）の本格活用に向け、導入・準備期、活用期と分け、教職員への研修を行います。

○あま市内小中学校情報通信ネットワーク構築業務（公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金）

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、児童生徒1人1台端末の導入に耐えうる通信ネットワーク環境を設計・設定しました。

- ・設計 校内LANケーブル配線、電源キャビネット（充電保管庫）工事の設計及びネットワーク構成の設計
- ・監理 あま市内小中学校情報通信ネットワーク環境整備工事における監理
- ・構築 既設の各学校機器及び行政基幹系ネットワークに影響が出ないよう、機器を接続し、通信ネットワークを構築する。
- ・事業費 27,803,600円

○あま市内小中学校情報機器調達業務（公立学校情報通信機器整備費補助金）

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、児童生徒1人1台のタブレット端末を整備しました。

- ・内容 タブレット端末及びケース一体型キーボード、端末管理ソフトを調達する。
- ・数量 7,932セット
- ・事業費 352,061,820円

○あま市内小中学校校内情報通信ネットワーク等整備工事（公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金）

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、高速大容量の通信ネットワーク環境及び端末を充電・管理するための電源キャビネット（充電保管庫）を整備しました。

- ・内容 情報通信ネットワーク環境整備工事
カテゴリ6AのLANケーブルを敷設する。
普通教室及び特別教室に無線LANアクセスポイントを設置する。
電源キャビネット（充電保管庫）整備工事
普通教室にタブレット端末用の電源キャビネット（充電保管庫）を整備する。
電気設備工事
電源キャビネット（充電保管庫）へ電力供給のため、分電盤を増設する。
- ・事業費 七宝地区 59,620,000円
美和地区 61,490,000円

○あま市内小中学校校内情報通信ネットワーク等追加整備工事（公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金）

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、高速大容量の通信ネットワーク環境を整備しました。

- ・ 内容 情報通信ネットワーク環境整備工事（追加）
カテゴリ6AのLANケーブルを敷設する。
普通教室及び特別教室に追加で無線LANアクセスポイントを設置する。
- ・ 事業費 35, 000, 900円

○あま市内小中学校情報通信ネットワーク接続業務

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、1人1台のタブレット端末で動画視聴やオンラインテストをストレスなく行える高速大容量の通信ネットワーク環境を整備しました。

- ・ 内容 インターネット接続及び使用
甚目寺庁舎と各小中学校間に光ファイバーケーブルを敷設する。
甚目寺庁舎から10G帯域の外部インターネット回線に接続する。
メディアコンバータ（信号変換装置）設置
甚目寺庁舎と各小中学校間に敷設する光ファイバーケーブルを接続するメディアコンバータを設置する。
- ・ 総事業費 長期継続 36, 201, 000円
令和2年度分 603, 350円（3月分のみ）

○あま市内小中学校大型提示装置整備工事

GIGAスクール構想が目指す環境を実現するため、1人1台のタブレット端末を効果的に活用する事が出来る大型提示装置を設置しました。

ただし、美和地区及び甚目寺地区は年度内の完了が困難であったため、令和3年度へ繰り越しました。

- ・ 内容 大型提示装置設置工事
普通教室及び特別教室に天吊り型モニターの大型提示装置を設置する。
Apple TVと大型提示装置を接続し、設定を行う。
電源増設工事
大型提示装置への電力供給のため、コンセント増設及び電気配線用ケーブルの配線を行う。
- ・ 数量 七宝小 22台、宝小 14台、伊福小 5台、秋竹小 15台
七宝中 26台、七宝北中 15台
美和小 24台、正則小 21台、篠田小 22台、美和東小 21台
美和中 33台
甚目寺小 31台、甚目寺南小 32台、甚目寺東小 31台、甚目寺西小 21台、甚目寺中 32台、甚目寺南中 31台
- ・ 事業費 七宝地区 29, 506, 400円
美和地区 13, 400, 000円（令和2年度支出分）
甚目寺地区 21, 300, 600円（令和2年度支出分）

○あま市内小中学校情報機器初期導入設定等業務

G I G Aスクール構想が目指す環境を実現するため、1人1台のタブレット端末の初期設定及びソフトウェア等の調達を行いました。

- ・ 内容 タブレット端末初期設定等
タブレット端末の端末管理ソフトウェア（MDM）への組み込み作業。
無償アプリケーションのインストール。
ケース取り付け及びフィルム貼り付け作業。
- 運搬・設置
あま市内全小中学校の電源キャビネットへの設置。
- 物品調達
授業支援ソフトウェアのライセンス取得
端末管理ソフトウェア（MDM）のライセンス取得
伊福小学校100台分のケース一体型キーボードの調達
- ・ 数量 初期導入設定等の対象台数 8,032台
- ・ 事業費 76,978,000円

○あま市内小中学校ネットワークセンターファイアウォール構築業務

G I G Aスクール構想が目指す環境を実現するにあたり、児童生徒が安全にインターネットを使用するために、ウェブフィルタリング機能を備えたセンターファイアウォールを設置しました。

- ・ 内容 センターファイアウォール機器の設置、設定
甚目寺庁舎電算室にUTM（統合脅威管理装置）等を設置する
内外ネットワーク接続設定
ウェブフィルタリング機能の設定
- ・ 事業費 7,501,780円

○G I G Aスクール構想に係る国庫補助金

- ・ 公立学校情報機器整備費補助金
1人1台端末（タブレット） 220,503,000円
- ・ 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金
電源キャビネット 36,233,000円
校内LAN工事 62,015,000円

※ これらの備品購入、工事及び委託業務等により、国の「G I G Aスクール構想」が目指す、児童生徒1人1台端末環境の実現と、市内小中学校に高速大容量の情報通信ネットワーク環境を構築することができました。

- 令和2年度に整備したICT機器等を円滑かつ有効的な活用を図ることができるよう学校現場を支援します。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○美和中学校公共下水道接続工事（学校施設環境改善交付金）

美和中学校施設の校舎、武道場及び屋外便所を公共下水道へ接続する工事を行いました。

- ・ 事業内容 既設管・浄化槽撤去、下水道管渠布設、舗装
- ・ 事業費 61,050,000円（令和元年 繰越事業）

○あま市内11小中学校1階配膳室空調機器設置工事

食品衛生の保持及び配膳員の健康維持を目的に七宝（七宝小、宝小、伊福小、

秋竹小、七宝中、七宝北中）・美和（美和小、正則小、篠田小、美和東小、美和中）地区の学校給食の配膳室に空調機器を設置しました。

- ・事業内容 ルームエアコン設置、電気設備工事
- ・事業費 5, 346, 000円

○七宝小学校給水管保温材取替工事

七宝小学校の普通教室棟北棟及び南棟屋上にある給水管保温材の一部が、破損や錆による腐食により厳冬期に給水管内が凍結して水が出なくなることがあるため、凍結防止を目的に保温材の取替工事をしました。

- ・事業内容 既設保温材撤去、ステンレスラッキング（熱絶縁材）設置
- ・事業費 3, 575, 000円

○七宝北中学校キュービクル改修工事

耐用年数を超え、大規模な改修等を実施していないキュービクルは、老朽化による事故の危険性が常に高い状態であったため、キュービクル改修工事をしました。

- ・事業内容 既設キュービクル撤去、キュービクル設置、電気ケーブル工事
- ・事業費 16, 877, 300円

○甚目寺南中学校キュービクル改修工事

耐用年数を超え、大規模な改修等を実施していないキュービクルは、老朽化による事故の危険性が常に高い状態であったため、キュービクル改修工事をしました。

- ・事業内容 既設キュービクル撤去、キュービクル設置、電気ケーブル工事
- ・事業費 17, 286, 500円

○七宝中学校多目的トイレ設置工事

多目的トイレ整備が近年の課題となっていたところ、令和2年度にトイレの使用に配慮が必要な生徒が入学したため、管理普通教室棟1階男子トイレ（職員用トイレ）の一部を改修し、多目的トイレを整備しました。

- ・事業内容 既設手洗カウンター撤去、多目的トイレブース・トイレ器具一式設置、手洗新設
- ・事業費 6, 352, 500円

○あま市内4小中学校特別教室空調機器設置工事（学校保健対策事業費補助金）

感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習環境を保障するため、設置要望のあった4小中学校（篠田小、甚目寺小、七宝中、甚目寺南中）の特別教室に空調機器を設置しました。

- ・事業内容 天吊型空調機設置、配管工事、電気設備工事
- ・事業費 4, 910, 400円

※ この改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる施設の整備を進めることができました。

- 安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後も施設の整備に努めていきます。

(2) 生涯学習課

■公民館事業

市民のニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げられる機会を提供しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部講座を中止または延期しました。

○社会教育講座

・美和公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
ノルディックウォーキングをしよう	5月16日、 6月20日 (土) 午前	一般	5回	25名	中止	中止
ハッピートーク	7月11日 (土) 午前					
食でよりよく家族の健康	7月25日 (土) 午前					
あま市の仏像に親しむ	8月1日 (土) 午前					

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
ハッピートーク	10月31日 (土) 午前	一般	5回	16名	16名	23名
ノルディックウォーキングをしよう	11月21日、 3月13日 (土) 午前					
食でよりよく家族の健康	11月14日 (土) 午前					
あま市の仏像に親しむ	12月12日 (土) 午前					

○公民館講座

・七宝公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
女性のための初めてのクラシックギター	5月15日・29日、 6月5日・19日、 7月3日 各日金曜日午後	女性	5回	10名	中止	中止
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	5月14日・21日・ 28日、6月4日・ 11日・18日・25日、 7月2日 各日木曜日午前	一般	8回	15名	中止	中止
笑顔の表情筋トレーニング	5月19日、6月2日・ 16日・30日、 7月7日 各日火曜日午前	一般	5回	15名	中止	中止

楽しく学ぶ英会話レッスン	7月～8月	中学生以上	5回	15名	中止	中止
--------------	-------	-------	----	-----	----	----

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
女性のための初めてのクラシックギター	10月16日・30日、 11月13日、 12月4日・18日 各日金曜日午後	女性	5回	10名	10名	18名
笑顔の表情筋トレーニング	11月10日・24日、 12月8日・22日 各日火曜日午前	一般	4回	15名	14名	25名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス（託児有）	1月7日、 3月4日・11日 各日木曜日午前 1月14日・28日、 2月4日・18日・ 25日は中止	一般	3回	15名	13名	17名

・美和公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
パンづくり	5月11日・25日、 6月8日・29日 各日月曜日午前	一般	4回	24名	中止	中止
お部屋を彩る苔テラリウムづくり	6月28日 （日）午後	一般	1回	30名	中止	中止
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月～8月	中学生以上	5回	15名	中止	中止

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
パンとクリスマスケーキづくり	10月5日・19日、 11月2日・16日、 12月7日・21日 各日月曜日午前	一般	6回	24名	22名	24名
国際理解教育講座～もつと外国を知ろう～	ベトナム	一般	5回	16名	16名	28名
	モンゴル					
	ネパール					
	バングラデシュ					

	ペルー	3月20日 (土) 午前					
お部屋を彩る苔テラリウムづくり		1月24日 (日) 午後	一般	1回	24名	中止	34名

・甚目寺公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	5月14日・21日・28日 各日木曜日午後	一般	3回	15名	中止	中止
パソコン講座 初めてのパソコン	5月12日・19日・26日、6月2日・9日・16日・23日・30日 各日火曜日午後	一般	8回	10名	中止	中止
ゆかたの着付け (託児有)	7月2日(木) 午前	女性	1回	25名	中止	中止
パソコン講座 パソコンを楽しむ	6月25日、7月2日・9日・16日・23日・30日 各日木曜日午後	一般	6回	10名	中止	中止
小学生パソコン道場	7月～8月	小学4年生～6年生	1回	10名	中止	中止
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月～8月	中学生以上	5回	15名	中止	中止

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
タブレット講座 はじめてのタブレット	10月7日・14日・21日・28日、11月4日 各日水曜日午後	一般	5回	10名	10名	24名
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）	11月5日・12日・19日 各日木曜日午後	一般	3回	15名	15名	22名
パソコン講座 初めてのパソコン	10月6日・13日・20日・27日、11月3日・10日・17日・24日 各日火曜日午後	一般	8回	10名	10名	15名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	11月19日・26日、12月3日・10日・17日・24日 各日木曜日午後	一般	6回	10名	8名	25名
着物の着付け (託児有)	11月12日・19日・26日、12月3日・10日 各日木曜日午前	女性	5回	12名	12名	15名
源氏節人形芝居講座 (甚目寺説教源氏節もくもく座)	11月10日・17日・24日、12月1日・8日 各日火曜日午後	一般	5回	10名	中止	1名

おうちで作ろう！ フルーツサンド&ジュース作り♪	11月7日 (土) 午前	小学4年生～ 6年生	1回	18名	5名	5名
カラフルしめ縄飾り～お花でデコレーション！～	12月9日 (水) 午前	一般	1回	10名	9名	15名

○親子ふれあい講座

小学生とその保護者対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。

・七宝公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
親子マグカップ作り	5月9日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	15組	中止	中止
親子宝箱作り	6月27日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	12組	中止	中止

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
親子フラワー	10月24日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	15組	9組 17名	9組 17名
親子スイーツデコレーション	1月30日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	15組	中止	6組 12名
親子宝箱作り	2月6日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	12組	中止	中止
親子マグカップ作り	3月6日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	15組	中止	中止

・美和公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
中止	中止	中止	中止	中止	中止	中止

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
親子お菓子作り	12月5日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	15組	13組 24名	13組 24名
親子パン作り	2月13日 (土) 午前	小学生とその保護者	1回	12組	中止	6組 10名

○親子人形劇鑑賞会・親子映画会

事業名	内 容	開催日	会 場	入場者
おやこ人形劇鑑賞会	人形劇団『むすび座』公演	中止	甚目寺公民館 講義室	中止

おやこ人形劇鑑賞会	人形劇団『にくじゃが』公演	中止	甚目寺公民館 講義室	中止
親子映画会	アニメ上映	中止	甚目寺公民館 講義室	中止

○図書室・読書室事業

事業名	内 容	回 数	参加者数	会 場
この本だいすきの会のよみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみきかせ	0回	中止	甚目寺公民館 図書室
おどろぐばこのかみしばい	幼児・児童向けかみしばい	0回	中止	甚目寺公民館 図書室
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべうた	0回	中止	甚目寺公民館 教養室
		0回	中止	七宝公民館 和室

○図書室・読書室利用者数・年間貸出冊数（点数）

図書室・読書室	利用者数（前年）	年間貸出点数（前年）	蔵書点数
七宝公民館読書室	347名（566名）	1,194点（2,053点）	13,571点
甚目寺公民館図書室	7,112名（13,632名）	19,654点（36,995点）	37,608点

○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、また絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さを実感していただくため、読み聞かせを実践しました。7月までは「ぼんちんぱん」、8月からは「かにこちゃん」の絵本を配布しました。

事業名	回 数	実施者数	会 場
ブックスタート事業	8回	157名	七宝保健センター
	8回	171名	美和保健センター
	22回	400名	甚目寺保健センター

○読書ボランティア講座

事業名	内 容	開催日	参加者数	会 場
読書ボランティア養成講座	赤ちゃんに絵本の時を	10月23日（金）	11名	美和公民館 研修室

○パソコン相談室

パソコン操作で悩みを抱えている方への支援策として、パソコン相談室を開きました。

開催日	回 数	参加者数	会 場
10月7日（水）・17日（土）、 11月4日（水）・21日（土）、 12月2日（水）・19日（土）、 1月6日（水） 午前10時～11時30分	7 回 (3名のボランティア協力による)	18名	七宝公民館 読書室
10月15日（木）、11月27日（金）、 12月11日（金） 午後2時～4時	3 回 (甚目寺パソコンクラブへ委託)	18名	甚目寺公民館 児童室
10月28日、11月18日、 12月16日、1月13日 各日水曜日 午後4時～5時30分	4 回 (五条高等学校パソコン部へ委託)	13名	甚目寺公民館 児童室
10月24日、11月28日 各日土曜日 午前10時～11時30分	2 回 (美和パソコンフォーラムのボランティア協力による)	0名	美和歴史民俗資料館研修室

※ 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成に繋がりました。

● 令和2年度の実績を踏まえながら、令和3年度も継続及び新規の講座を開催します。

■成人式事業

成人の日を迎えられたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、成人式を実施しました。

- ・日時及び会場：令和3年1月10日（日）
甚目寺地区：午前9時30分開始 甚目寺公民館大ホール
七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール
- ・行 事 の 内 容：式典、成人式実行委員会企画
- ・記 念 品：万年筆
- ・新 成 人：平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれ
- ・対 象 者：975名（男性490名、女性485名）
- ・参 加 者：680名（男性330名、女性350名）
- ・参 加 率：約69.7%

上記の他、市外からの参加を希望した新成人74名（男性44名、女性30名）

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者による、二十歳の誓い、交通安全宣言、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

● 成人式を開催することで、社会人としての自覚と責任感を促します。令和3年度も実行委員会による運営に取り組みます。

■シルバーカレッジ事業

シルバーカレッジ卒業生を対象に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジマスター講座及びOB会講座を開催しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止または延期しました。

○シルバーカレッジ

回	内 容	開催日
1	入学式 / 自己紹介	中止

2	あま市をもっと好きになる！ ／ 地元産業を学ぼう！	中止
3	あま市史跡巡り①	中止
4	ハピトレ ～広げよう笑顔の輪～	中止
5	救命講習	中止
6	楽しく異文化コミュニケーション	中止
7	日本の難民問題と難民支援協会	中止
8	大地震に備える ～災害時にすべきこととは～	中止
9	社会見学	中止
10	正しい口腔ケアでお口を健康に！	中止
11	あま市史跡巡り②	中止
12	コミュニケーション力アップ！ ～たくさんの人と交流できるようになろう～	中止
13	七宝焼を作ろう！	中止
14	ご用心！身近に潜む消費者トラブル	中止
15	甚目寺説教源氏節を鑑賞しよう！	中止
16	読書で交流	中止
17	運動不足を解消！すぐできる健康体操	中止
18	卒業文集・アルバムを作ろう！①	中止
19	交通事故防止講習	中止
20	卒業文集・アルバムを作ろう！②	中止
21	卒業式	中止

- ・会 場：シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）ほか
- ・時 間：午前9時30分～午後0時30分
- ・対 象：あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・定 員：36名

○シルバーカレッジマスター講座

回	内 容	開催日
1	開講式 ／ 情報交換会	9月29日（火）
2	あま市をもっと好きになる	10月13日（火）・ 16日（金）
3	史跡巡り（甚目寺地区）	10月20日（火）・ 23日（金）
4	史跡巡り（七宝地区）	11月10日（火）・ 13日（金）
5	ペーパークラフト（立体パズル作り①）	11月17日（火）・ 20日（金）・24日 （火）・27日（金）
6	OB会組織づくり	12月1日（火）・4日 （金）・8日（火）・ 11日（金）

7	脳トレで免疫力アップ！	12月15日（火）・ 22日（火）
8	ペーパークラフト（立体パズル作り②）	1月12日（火）、 3月9日（火）・12日（金）
9	運動不足を解消！すぐできる健康体操	1月29日（金）中止、 2月12日（金）中止
10	閉講式	2月16日（火）中止

- ・会 場：シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）ほか
- ・時 間：午前9時30分～午後0時30分
- ・対 象：シルバーカレッジ卒業生
- ・参加者：60名

○シルバーカレッジOB会講座

内 容	開催日
自分史及びノーベル生理学・医学賞について	3月10日（水）

- ・会 場：シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）
- ・時 間：午前9時30分～正午
- ・対 象：シルバーカレッジ卒業生
- ・参加者：42名

※ シルバーカレッジ事業を通して、学びや交流の場を提供することにより、地域コミュニティの活性化や、互いに助けあえる共助の生活に寄与することができました。

● 令和3年度もシルバーカレッジ事業の目的を踏まえながら事業を実施します。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、身近な子育てモデルもなく、親は育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、各種事業を実施しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止または延期しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催日	開催場所	定 員	受講者数
にこにこ学級【全10回】	5月15日・29日、 6月12日・26日、 7月10日、 9月11日・25日、 10月9日、 11月13日、 12月11日 各日金曜日午前	甚目寺公民館 ほか	32組	中止
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	5月11日 （月）午前	海部東部消防署	20組	中止
ドロンコ遊びをしよう	5月23日 （土）午前	海部東農協の美 和ライスセンタ ーの田	25組	中止
お子さんと一緒にクッキング ～毎日の献立にひと工夫～	6月16日 （火）午前	美和公民館	12組	中止

Let' s MUSIC ♪ 親子で音楽あそび！	9月13日 (日) 午前	甚目寺公民館	15組	中止
にこにこ学級【全5回】	10月9日・23日、 11月13日・27日、 12月11日 各日金曜日午前	甚目寺公民館	14組	17組 37名
人形劇を楽しもう 「ラーくんのおもしろパネルミュージカル」「おおきいのちいさいの」	10月22日 (木) 午前	甚目寺公民館	20組	15組 34名
アレルギーに詳しい小児科のお医者さんと話そう！	10月29日 (木) 午前	甚目寺公民館	20名	9名
助産師さんと話そう ～みんなが気になる、ママのための性教育講座～	11月19日 (木) 午前	七宝公民館	15名	8名
Let' s MUSIC ♪ 親子で音楽あそび！	11月29日 (日) 午前	甚目寺公民館	15組	15組 38名
できたよできたよ♪ ママと一緒に作ってあそぼ♪	12月24日 (木) 午前	甚目寺公民館	10組	6組 14名

○家庭教育読本

「あまっ子子育て応援BOOK～家庭教育のススメ～」について、啓発のため各機関への説明を行いました。

開催日	内 容
11月11日(水)	あま市民生委員児童委員協議会定例会(甚目寺地区)
11月26日(木)	あま市民生委員児童委員協議会定例会(七宝地区)
12月1日(火)	あま市民生委員児童委員協議会定例会(美和地区)
1月13日(水)	あま市子育て支援事業関係団体等とのネットワーク会議

○親子ふれあいデー

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

「家庭の日」と「あまっ子デー」(新設)の啓発・普及を図るための参加型・体験型のイベントを計画しました。

- ・開催日：令和3年2月6日(土)
- ・時 間：午前10時～午後4時
- ・場 所：美和文化会館 多目的ホール及びアトスペースM

○家庭教育推進企業登録制度

家庭教育推進事業の協力企業の募集と、企業内における家庭教育推進事業の奨励を行うことにより、家庭教育の一層の促進を図ることを目的とした企業登録制度を開始しました。

	登録企業・団体名	業 種
1	佐藤醸造株式会社	味噌・醤油製造業
2	株式会社原ネームプレート製作所	家電自動車プラスチック部品製造
3	株式会社弘和テック	製造業
4	勅使川原産業株式会社	運輸業
5	株式会社光電業社	電気工事業

○子育てサロン

子育て中の親子が気軽に集える場を提供するよう計画しました。

開催日	回 数	参加者数	会 場
8月・12月を除く毎月2日間 午前10時～午後0時30分	0回	中止	七宝公民館 和室
8月・12月を除く毎月3日間 午前11時～午後2時	0回	中止	甚目寺公民館 談話室

※ 家庭教育は人が最初に受ける教育であり、基本的な生活習慣を身につけるための重要な役割を果たしています。親と子がともに学び、ともに楽しむきっかけづくりとなりました。

- 令和3年度は家庭教育推進事業のうち、家庭教育推進企業の登録数を増やすとともに、子育て支援の一助となるよう親子ふれあいデーを実施します。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を計画しました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

	事業名	内 容	開催日・場所
1	夏期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを計画	7月・8月 小中学校夏休み 期間中 *中止
2	「あまつり 2020」夜間街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「あまつり 2020」において夜間街頭パトロールを計画	8月15日（土） 七宝焼アートヴィレッジ *中止
3	「あま市人権講演会」啓発活動	青少年健全育成推進協議会委員により、「あま市人権講演会」において啓発活動を計画	11月22日（日） 美和文化会館 *中止
4	「イルミネーション点灯式」街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「イルミネーション点灯式」において街頭パトロール及び啓発活動を計画	11月28日（土） 美和文化会館 *中止

5	冬期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを計画	12月・1月 小中学校冬休み 期間中
---	-----------	--	--------------------------

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく、多様な交流の機会を計画しました。大人として、青少年の健全育成のためにどのような事ができるのかを考える契機となりました。

● 今後も学校の長期休暇を中心に、青少年の非行撲滅の啓発活動を推進します。

■人権啓発推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を計画し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図ることを目的としました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

- ・日 時：令和2年8月7日（金） 午後2時～午後4時
- ・会 場：甚目寺公民館 大ホール
- ・講 師：お笑い芸人 スマイリーキクチ氏
- ・演 題：「インターネットと人とのかかわり合い～突然、僕は殺人犯にされた～」

※ 市内外の教職員を対象に人権教育講演会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

● 人権問題に係る正しい認識と理解を深めるため、令和3年度も事業を実施します。

■子ども・若者支援事業

○あま市・大治町子ども・若者支援地域協議会

代表者会議において協議会の年間活動方針を決定するとともに、協議会を構成する関係機関の相互連携や情報交換を図るための実務者会議を開催しました。

内 容	開催日・場所
代表者会議 令和2年度事業計画（案）について 平成31（令和元）年度事業報告について	5月26日（火） 書面会議
第1回実務者会議 相談窓口相談件数の報告、関係機関からの支援マップ及び 取り組み紹介シート等の提供資料の配布	7月28日（火） 書面会議
第2回実務者会議 第1回実務者会議の総括及び意見に対する回答 相談窓口事例検討	10月30日（金） シルバーカレッジ教室
第3回実務者会議 第2回実務者会議の総括、相談窓口事例検討	12月15日（火） 大治町スポーツセンター
第4回実務者会議 令和2年度事業報告、窓口相談件数及び運営状況、 令和3年度事業計画（案）について	2月26日（金） 書面会議
あま市・大治町合同定例会 協議会の運営について両市町が協議し、かつ事務の連絡 調整を図るため開催 (令和2年4月～令和3年3月、全20回)	甚目寺公民館又は大治町立 公民館

○あま市子ども・若者相談窓口

子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う拠点となる相談窓口を令和２年度に設置・運営しました。

内 容		開催日・場所
相談対象者	あま市・大治町に居住する概ね 15 歳から 39 歳までの子ども・若者又はその家族	毎週火曜日と金曜日 (年末年始及び祝休日を除く) 甚目寺公民館 1 階相談室
相談人数	21 名	
延べ相談回数	63 回	

※ 子ども・若者支援地域協議会と相談窓口の運営を通じて、ひきこもりやニート、不登校や発達障がい等、社会生活を営む上での困難を有する子どもや若者に対し、公的機関・民間団体等が連携して継続的な支援を実施するための足掛かりとすることができました。

● 令和３年度も引き続き、子ども・若者支援地域協議会と相談窓口を運営し、社会生活を営む上での困難を有する子どもや若者に対し、公的機関・民間団体等が連携して継続的な支援を実施します。

■地域学校協働活動事業

地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置や地域学校協働活動の担い手となる地域ボランティアを確保する等、地域学校協働本部を整備することにより、コーディネート機能を強化し、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域学校協働活動を推進しました。

○コーディネート実績

	内 容	地域ボランティア	開催日	開催場所
1	七宝中学校 「環境整備活動（除草作業）」 (人員の確保)	6 名	8 月 22 日(土)	七宝中学校
2	七宝北中学校 「環境整備活動（除草作業）」 (人員の確保)	4 名	9 月 5 日(土)	七宝北中学校

○その他

開催日	内 容
8 月 4 日 (火)	第 1 回運営委員会開催
10 月 1 日 (木)	地域学校協働本部だより第 3 号発行
11 月 20 日 (金)	第 2 回運営委員会開催
11 月 24 日 (火) ～ 28 日 (土)	啓発用リーフレット各戸配布
3 月 17 日 (水)	第 3 回運営委員会開催

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、臨時休業や学校行事の変更があったため、2 件のコーディネート実績となりました。

● 組織的かつ継続的に地域学校協働活動を推進するには、地域コーディネーターの充実や資質向上、また地域ボランティアの確保が求められます。さらには、地域学校協働活動への理解促進を図ることが必要であり、学校関係者、地域住民、保護者等への普及啓発をより一層推進します。

■あま発未来創造塾

次世代の市を担っていく若者と市長・教育長との対話の場を設け、共生・協働のまちづくりに対する意識の向上を図ることを目的とし、市の未来について考えました。

開催日	内 容 (成人式実行委員会)	内 容 (未来創造塾)
5月22日(金)	—	令和2年度事業の意見聴取 書面会議
6月5日(金)	あま発未来創造塾の概要説明 及びアンケート	—
7月11日(土)	—	令和2年度事業について 実施要領の作成について 令和3年度の目標
7月22日(水)	民法改正(成年年齢関係)について 成人式にかわる新名称について	—
8月14日(金)・19日(水)	あま市制10周年及びあま市の 家庭教育について	—
8月28日(金)	—	実施要領の修正 学生団体マトリカリアの立ち上げ イベントの企画運営
9月16日(水)・18日(金)	「勇健都市あま市」について あま市に望むことを題材に 文章を作成(議会だより第43号裏面掲載)	—
9月25日(金)	—	学生団体マトリカリアの活動について 親子ふれあいデー参画について
10月21日(水)	地域学校協働本部について	—
10月23日(金)	—	親子ふれあいデーの準備
11月20日(金)	合同演習「まちづくり」について	
12月16日(水)	関心のあるテーマであま市の「今」と「理想」について対話 テーマ：子育て、知名度、ボランティア、交通事情、公共施設	
3月19日(金)	市長・副市長・教育長との懇談会	
3月27日(土)	—	マトリカリアの子ども食堂 プレオープン

※ 市の現状を考えるきっかけづくりとして、市が取り組んでいる事業を紹介し、市への興味と問題意識を芽生えさせ、まちづくりへの意識を高めることができました。

● 令和3年度も、未来創造塾を発展させ、まちづくりをサポートします。

■生涯学習推進計画策定事業

生涯学習推進計画とは、市の生涯学習に関する基本的な方向性を明らかにするもので、生涯学習に関する施策の総合的な推進を図るものです。

これからの市における生涯学習の方向性として、学習者が自分のために学ぶだけにとどまらず、学習の成果を社会に還元できることを目標とするため、学習者の社会参画が、自身の生きがいにつながるような循環型の仕組み作りを目的に策定準備に取り組みました。

○作業部会

開催日	内 容
6 月 30 日（火）	第 1 回作業部会（生涯学習推進計画策定について）
8 月 7 日（金）	第 2 回作業部会（アンケート配布先等について）
9 月 25 日（金）	第 3 回作業部会（策定までのスケジュールについて）
10 月 27 日（火）	第 4 回作業部会（アンケート実施について、役割分担について）
3 月 12 日（金）	第 5 回作業部会（アンケート集計について、計画骨子作成について）

○生涯学習に関するアンケート調査の実施

令和 2 年 1 1 月から令和 3 年 2 月までに 5,018 枚を配布し、3,173 枚を回収しました。（回収率 63 パーセント）主な配布先としては五条高校、美和高校、市内小中学校（6 校）、文化協会、新成人、文化会館・公民館利用者等です。

開催日	内 容
11 月 6 日（金）	甚目寺駅北ロータリーにて街頭アンケート調査を実施
11 月 14 日（土）	女性の会バザー会場にてアンケート調査を実施
11 月 15 日（日）	「秋だから図書館へ行こう」会場にてアンケート調査を実施
12 月 5 日 ・ 19 日（土）	ピアゴ甚目寺店にて街頭アンケート調査を実施
12 月 23 日（水）	愛知室内オーケストラ公開リハーサル会場にてアンケート調査を実施

※ 令和 3 年度末の計画策定に向けて、作業部会を実施するとともに、生涯学習に関するアンケートを行い、計画の骨子を作成しました。

● 令和 3 年度は、策定委員会を開催し、生涯学習の分野にて活動されている方々の意見を取り入れ、生涯学習推進計画の策定に取り組みます。

■社会教育団体育成事業

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の文化・芸術活動の成果を発表し、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発表を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付する予定でしたが、事業が中止となり補助金の交付を行いませんでした。

○あま市文化協会補助事業

第11回あま市文化祭（あま市文化協会主催） ＊中止

- ・作品展示、生花展示

日 時：11月7日（土）、8日（日） 午前9時～午後4時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館

- ・芸能発表会

日 時：11月7日（土）、8日（日） 午前10時～午後4時

会 場：甚目寺公民館 大ホール

- ・茶席

日 時：11月7日（土）、8日（日） 午前9時～午後3時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館

- ・第11回あま市民囲碁大会

日 時：11月15日（日） 午前9時～午後5時

会 場：七宝公民館

- ・第11回あま市民将棋大会

日 時：11月15日（日） 午前9時～午後5時

会 場：甚目寺公民館

『あま市女性の会』

女性が社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○あま市女性の会補助事業

- ・夏まつり盆踊り練習会

日 時：7月4日（土） ＊中止

- ・主催講座「民謡を楽しむ」

日 時：11月6日、20日（金） 午前10時～11時30分

会 場：甚目寺公民館 視聴覚室

参加者数：28名

- ・主催講座「干支の木目込人形作り」

日 時：11月10日、17日（火） 午前9時30分～正午

会 場：甚目寺公民館 研修室

参加者数：18名

- ・主催講座「親子料理教室」

日 時：12月5日（土） 午後2時～4時

会 場：コミュニティプラザ萱津

参加者数：6組12名

○サマーキャンプ補助事業

- ・あま市青少年キャンプ ＊中止

日 時：7月25日（土）、26日（日）

会 場：文化の杜

※ 『あま市文化協会』について、文化祭を3会場別日開催すること等、文化祭の開催方法を検討していくことが望まれます。

『あま市女性の会』について、県の女性の会での研修や他自治体の女性の会との交流を通じ、より一層女性の社会参画に有効な事業を展開することが望まれます。

『サマーキャンプ補助事業』について、小学生の異学年交流の場として貴重な機会であり、青少年の健全育成のため計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

- 『あま市文化協会』、『あま市女性の会』両団体について、事業目的及び市民協働の観点からみても、市の積極的な協力が不可欠と考えられます。両団体と市が協力し合いながらお互いを尊重し、補い合い、対等のパートナーとして、共通の目的のために事業に取り組む必要があります。

『サマーキャンプ補助事業』について、令和3年度も青少年の健全育成のため、継続していきます。

■社会教育施設整備事業

市民が安全かつ快適に生涯学習活動を実施できるよう、社会教育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○甚目寺公民館受変電設備更新工事

- ・事業内容 電力の変換・調整操作の全般とその監視・制御を行うための電気工作物である受変電設備は設置後35年が経過しており、老朽化が著しいため更新を行いました。

- ・事業費 20,780,100円

※ 工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

- 令和3年度も市民が安全かつ快適に生涯学習活動ができるよう、社会教育施設の整備を進めます。

■歴史民俗資料館事業

市の歴史文化を認識する機会を各種事業において提供しました。同時に市の歴史文化を発信し、子どもから大人まで幅広い年代層に郷土愛を育むきっかけづくりとしました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

○企画展示会

美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館において企画展を実施し、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企画展名	開催場所	開催期間
①収蔵品展 ②見てみよう！古書（仮題）	美和歴史民俗資料館 甚目寺歴史民俗資料館	4月中旬～5月中旬 ①②ともに中止
第30回 ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	6月1日（月）～ 30日（火）＊中止
企画展 終戦75年「あま市と戦争展」 〃 「戦争を知る」	美和歴史民俗資料館 甚目寺歴史民俗資料館	8月10日（月・祝）～ 10月11日（日）
秋の企画展示会 ①「世界の鍵展」 ②「50のコラムとセピア色のあま」	美和歴史民俗資料館	①11月1日（日）～ 12月28日（月） ②12月5日（土）～ 1月31日（日）
あま市出身 日本画家 「大塚夫佐子作品展」	あま市美和文化会館 アートスペースM	12月6日（日）～ 26日（土）
世界の鍵展パート2	甚目寺歴史民俗資料館	3月20日（土・祝）～ 31日（水）

○歴史散策事業・歴史ガイド養成事業

市内各地に点在する史跡や文化財をめぐり、市の歴史を再認識する機会を設けました。また散策・見学事業を通じ、歴史ガイドボランティアの養成も同時に行いました。

事業名	開催日	見学地	参加者数
市民の作った歴史散策コースを行く！ その1	5月中旬	市内	中止
市民の作った歴史散策コースを行く！ その2	6月中旬	市内	中止
戦争遺跡をたずねて（展示会連動企画） ①恒久祈念のクロガネモチをたずねて ②甚目寺飛行場跡をたどる	①9月19日（土） ②10月3日（土）	①伊福地区周辺 ②新居屋地区周辺	①12名 ②15名
ガイド研修会（実地編）	10月12日（月） 10月25日（日） 3月28日（日）	甚目寺観音周辺 甚目寺観音周辺 犬山市・青塚古墳	8名 8名 中止

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

小学生を対象として、地元の川や生物を調べることにより、市の水文化（田んぼ）の役割と、地域と水との関わり合いを知る機会を計画しました。

内 容	開催日	参加者数
水質調査	7月初旬	中止
木曽川調査（協力：国土交通省木曽川下流事務所）	8月初旬	中止
エコきっずサミット参加（会場：蟹江町）	8月中旬	中止

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を計画しました。

講演テーマ	講 師	開催日	参加者数
歴史文化講演会	未定	5月中旬	中止
古時計の解説とその魅力について	宮崎照夫氏 （古時計コレクター）	6月中の毎週土曜・日曜 ときのきねんび展会場	中止
災害から学ぶ地域の歴史	大塚友恵氏 （NPO法人ニワ里ねっと 所属：学芸員）	8月30日（日） 美和文化会館 多目的ホール	37名
展示会連動企画 記念碑から見る愛知の戦争	伊藤厚史氏 （名古屋市文化財保護室 学芸員）	9月26日（土） シルバーカレッジ教室	30名
北米移民とあま市	筒井 正氏 （愛知学泉大学准教授）	2月20日（土） シルバーカレッジ教室	中止

○歴史文化体験講座 トイナオス

館蔵の古文書や弥生土器を活用し歴史文化体験講座を開催し、歴史への探求心を呼び起こす契機としました。

講座名	講 師	開催日	開催場所	参加者数
古文書解読講座	藤井智鶴氏	7月～3月、毎月第一土曜	甚目寺公民館等	18名
土器作り体験	当館職員	11月15日・22日(日)	美和歴史民俗資料館	13名

○歴史ガイドボランティア養成講座

内 容	開催日／開催場所	参加者数
つまみぐい郷土史 (散策会を行う前の下準備散策)	5月、6月／未定 10月、11月／未定 3月23日(火)／東溝口	中止 中止 12名

○移動博物館

歴史民俗資料館の収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

講座名	内 容	開催日	開催場所
移動博物館 (昔のくらしと生活の学習)	対象は小学3年生。昔のくらしの道具を授業で活用し、かつてのこの地域の暮らしを学習。	1月13日(水) 1月14日(木) 1月15日(金) 1月18日(月) 1月19日(火) 1月22日(金) 1月26日(火) 2月1日(月) 3月15日(月)	甚目寺南小 美和東小 篠田小 宝小 正則小 七宝小、美和小 秋竹小 甚目寺小 甚目寺東小

○検定事業

ジュニア検定を通して市の歴史文化を多くの児童に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。本年度は希望校のみの実施となりました。

講座名	内 容	開催日	開催場所
あま市ものしりジュニア検定のための出前授業	対象は小学6年生。学校に出向き、地域の歴史文化を伝える授業を行い、その後、各校でジュニア検定に取り組みました。	12月3日(木) 12月8日(火) 12月10日(木) 1月21日(木) 1月25日(月) 1月27日(水) 2月5日(金)	甚目寺南小 宝小 正則小 篠田小 美和東小 甚目寺小 秋竹小
第11回あま市ものしり検定	一般(中学生以上)向けのあま市のご当地検定(4択50問)	3月7日(日) *中止	—

※ 市の歴史・文化を認識するための展示会および講演会等を実施し、郷土への理解と関心を高めるきっかけづくりを行いました。

● 令和3年度も、歴史・文化の情報を発信し続けることにより、市内外の多くの方々に、市の誇る歴史・文化を伝え広められるよう事業を展開します。

■文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内に点在する史跡、寺社の祭事等にあわせ各種事業を実施しました。

＊ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止しました。

○文化財の保護活動

文化財の保護活動として国の重要文化財である甚目寺観音建造物群（南大門・三重塔・東門）にかかる防災設備の改修と防犯設備の新設、県天然記念物「下萱津のフジ」の藤棚修繕を実施しました。

	内 容
啓発	●愛知県民俗芸能大会の実施 ＊中止 10月11日（日）、美和文化会館大ホールにて、県内で傳承されている各種伝統芸能を鑑賞し、地域の伝統文化に親しむことを目的に開催する県主催の事業です。会場は県内自治体が持ち回り、県内の5～6団体を招き、民俗芸能を披露していただくものです。郷土からの選出として、もくもく座による「甚目寺説教源氏節（人形浄瑠璃）」を披露する計画でした。
保護	●下萱津のフジおよび藤棚の修復作業 引き続き天然記念物である幹に悪影響を及ぼさぬよう樹木医指示のもとフジの樹勢回復を促進させつつ、棚の修繕作業を行いました。
	●文化財防火デーの実施 ＊中止 令和3年1月26日（火）、甚目寺観音境内において防火訓練を実施する計画でした。
	●甚目寺観音 防災施設等修繕工事の実施 国庫補助金を得て、国の重要文化財に指定されている南大門、三重塔、東門の消火設備等を修繕し、さらに防犯設備を新たに設置するための工事を実施しました。

○刊行物

市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
終戦 75 年『甚目寺飛行場』改定版	昭和 19 年、市北部に作られた陸軍飛行場に関する冊子「甚目寺飛行場」に、新たな史実を加えて改訂版を作成しました。	A4 版、70 頁 500 部
市制 10 周年記念 『歴史写真集 セピア色のあま市』	明治後期から昭和 40 年まで、かつてのこの地域を写し出した写真集を作成しました。コラムについては市民より寄稿いただきました。	A5 版、100 頁 500 部
ニュースレターNo.11	年 1 回発行の資料館ニュースレターを作成しました。	A4 版、6 頁 1,000 部

※ 文化財保護の理解を深めると同時に、市民に対してその意識を高めることができました。

● 幅広い世代に地域の歴史を伝え広められるよう新年度も継続して保護活動を実施します。

■文化財施設整備事業

○甚目寺観音防災施設等改修工事の実施

令和2年度、3年度の2か年事業です。2年度分の工事は8月下旬からはじまり12月初旬に終了しました。工事は主に消火配管の取替と消防機器の取り付けにかかる電気系統の整備でした。工事費は国、愛知県、あま市、宗教法人甚目寺の4者による負担となっており、その金額、負担割合については次表のとおりです。

区分	令和2年	令和3年	負担割合
国庫補助	16,028,000円	35,278,000円	70%
負担金	愛知県	3,527,000円	7%
	あま市	3,527,000円	7%
	甚目寺	8,066,000円	16%
合計	22,898,000円	50,398,000円	総額 73,296,000円

※ 国の重要文化財である南大門他2棟を火災から守り、また死角の多い境内地に防犯カメラを設置するための工事を実施しました。市の歴史遺産を守り、市民に対し文化財保護の意識を高めることができました。

● 令和3年度も市民が安全かつ快適に文化振興活動ができるよう、資料館等施設整備を進めます。

■文化の杜指定管理事業

文化の杜（美和文化会館・美和図書館・美和ふれあいの森）の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活用して、より効果的・効率的な運営に努めました。

- ・指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日
- ・指定期間に係る指定管理料 542,282,000円
- ・令和2年度指定管理料 109,051,000円
- ・指定管理者 あまSL共同事業体 代表企業 昭和建物管理株式会社
構成企業 株式会社リブネット

※ 民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な運営により、地域の文化振興に寄与することができました。

● 令和3年度もより効果的・効率的な運営に努めます。

■美和文化会館事業

各種講座・教室、イベント事業などを開催し、文化・芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化会館利用の促進を図りました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止又は延期しました。

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
アロマヨガ (6回コース)	4月10日・24日、 5月8日・22日、 6月12日・26日 各日金曜日	25名	中止	中止	アトスペース M
顔ヨガ(4回コース)	4月9日・23日、 5月14日・28日 各日木曜日	25名	中止	中止	アトスペース M
初心者向けのやさしい ヨガ(6回コース)	4月8日・22日、 5月13日・27日、 6月3日・17日 各日水曜日	25名	中止	中止	アトスペース M

転倒予防教室 (3回コース)	4月17日、5月29日、 6月19日 各日金曜日	25名	中止	中止	多目的ホールB C
ベリーやわらか元気教室 (6回コース)	4月12日・19日、 5月17日・24日、 6月7日・21日 各日日曜日	20名	中止	中止	アートスペース M
やわらか元気日曜ヨガ 教室 (6回コース)	4月12日・19日、 5月17日・24日、 6月7日・21日 各日日曜日	20名	中止	中止	アートスペース M
ふれあいの森の不思議 と魅力を知ろうウォー キング	4月18日 (土)	—	中止	中止	ふれあいの森
アロマヨガ (6回コース)	7月10日・31日、 8月7日・28日、 9月4日・18日 各日金曜日	20名	16名	16名	アートスペース M
初心者向けのやさしい ヨガ (6回コース)	7月15日・29日、 8月5日・19日、 9月9日・23日 各日水曜日	20名	16名	16名	アートスペース M
転倒予防教室 (3回コース)	7月10日、8月28日、 9月25日 各日金曜日	20名	11名	11名	多目的ホールB C
ベリーやわらか元気教室	9月20日 (日)	20名	17名	17名	アートスペース M
やわらか元気日曜ヨガ 教室	9月20日 (日)	20名	14名	14名	アートスペース M
ふれあいの森の不思議 と魅力を知ろうウォー キング (3回コース)	7月18日、8月22日、 9月26日 各日土曜日	—	8名	自由 参加	ふれあいの森
アイス珈琲の淹れ方	7月30日 (木)	20名	中止	中止	多目的ホールB C
みわおもちゃ病院	8月16日 (日)	50名	60名	60名	2階ロビー
ポーセラーツ教室 (3回コース)	9月23日、10月14日、 11月4日 各日水曜日	20名	17名	17名	多目的ホールB C
アロマヨガ (6回コース)	10月9日・23日、 11月13日・20日、 12月11日・25日 各日金曜日	20名	13名	13名	アートスペース Mほか
初心者向けのやさしい ヨガ (6回コース)	10月14日・28日、 11月4日・25日、 12月2日・16日 各日水曜日	20名	11名	11名	アートスペース Mほか
転倒予防教室 (3回コース)	10月16日、11月13日、 12月4日 各日金曜日	20名	13名	13名	多目的ホールB C

ベリーやわらか元気教室（4回コース）	10月4日、11月1日・8日、12月6日 各日日曜日	20名	16名	16名	アトスペース Mほか
やわらか元気日曜ヨガ教室（4回コース）	10月4日、11月1日・8日、12月6日 各日日曜日	20名	15名	15名	アトスペース Mほか
ふれあいヨガ	10月25日（日）	40名	35名	35名	ふれあいの森
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング（3回コース）	10月17日、11月28日、12月19日 各日土曜日	—	27名	自由参加	ふれあいの森
自分史講座（3回コース）	10月3日・24日、11月21日 各日土曜日	20名	10名	10名	多目的ホールB C
おいしい珈琲の淹れ方講座（2回コース）	10月20日（火）・28日（水）	12名	12名	12名	多目的ホールB C
伊藤三春絵画展	10月2日（金）～7日（水）	200名	159名	159名	アトスペース M
水彩画教室	10月31日（土）	20名	18名	18名	ふれあいの森 ほか
お正月飾り	11月18日（水）	40名	33名	33名	アトスペース M
こんまり流お片づけ講座	12月1日（火）	20名	15名	15名	アトスペース M
ウッドバーニング教室	12月9日（水）	20名	6名	6名	多目的ホールB C
ベリーやわらか元気教室（6回コース）	1月10日・31日、2月14日・28日、3月14日・28日 各日日曜日	20名	1月～2月 中止 18名	1月～2月 中止 18名	アトスペース M
やわらか元気日曜ヨガ教室（6回コース）	1月10日・31日、2月14日・28日、3月14日・28日 各日日曜日	20名	1月～2月・3月 14日 中止 11名	1月～2月・3月 14日 中止 11名	アトスペース M
初心者向けのやさしいヨガ（6回コース）	1月13日・20日、2月10日・24日、3月10日・24日 各日水曜日	20名	1月20日～2月 中止 14名	1月20日～2月 中止 14名	アトスペース Mほか
アロマヨガ（6回コース）	1月15日・29日、2月19日・26日、3月12日・19日 各日金曜日	20名	1月～2月 中止 14名	1月～2月 中止 14名	アトスペース Mほか
転倒予防教室（3回コース）	1月22日、2月19日、3月19日 各日金曜日	20名	1月～2月 中止 14名	1月～2月 中止 14名	多目的ホールB Cほか
ふれあいの森の不思議と魅力を知ろうウォーキング（3回コース）	1月23日、2月20日、3月27日 各日土曜日	—	1月～2月 中止 15名	自由参加	ふれあいの森
みわおもちゃ病院	2月14日（日）	50名	中止	中止	2階ロビー

自分だけのオリジナル ネイルチップ講座	3月11日・25日 各日本曜日	20名	最少催行 人数に満 たないた め中止	最少催行 人数に満 たないた め中止	アールスペース M
親子英会話教室 (体験版)	3月16日 (火)	10組 20名	8組 18名	8組 18名	アールスペース M

○イベント事業

事業名	出演者 (敬称略)	開催日	参加者数	会 場
あま防災・減災フェスタ 2020	愛知県警察音楽 隊ほか	5月23日 (土)	中止	大ホール ほか
えんどうまめとおひめさ ま	愛知県芸術劇場	8月9日 (日)	中止	大ホール
自然の中で思いっきり遊 ぼう	沢井史恵ほか	9月26日 (土)	52名	ふれあいの 森
文化の杜ミュージカルシ ョー子どもたちのための 芸術劇場	名経大高蔵高 校・中学校演劇 部	12月20日 (日)	中止	大ホール
愛知室内オーケストラ公 開リハーサル	愛知室内 オーケストラ	12月23日 (水)	82名	大ホール
あま市民絵画展	平松春夫	1月13日 (水) ～20日 (水)	1月13日 30名 14日以降 中止	アールス ペースM
鉄道フェスタ 2021in あ ま	貨物鉄道博物館 ほか	1月24日 (日)	中止	全館
ロビーコンサート	公募12団体	2月13日 (土)	中止	1階ロビ ー
原田節 ～オンド・マルトノの世 界～	原田節ほか	2月14日 (日)	中止	大ホール
ブラアイチ×狂言	愛知県 あま市	2月21日 (日)	中止	大ホール ほか
親子ふれあい映画会 SING／シング	—	3月13日 (土)	166名	大ホール
荒川眞生 百人一首展	荒川眞生	3月25日 (木) ～27日 (土)	115名	アールス ペースM

※ これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

● 令和2年度の実績を踏まえながら、令和3年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

■美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を中止又は変更しました。

○企画展示

展示名	内 容	開催日	会 場
特別 展示	「世界のアトムコレクション」	4月1日（水） ～9月27日（日）	図書館内 展示ケース
	「あま市の産業 刷毛展」	10月6日（火） ～11月29日（日）	
	「郷土玩具 丑展」	12月5日（土） ～1月17日（日）	
	「貨物鉄道展」	1月24日（日） ～3月31日（水） ＊中止	
	「しかけ絵本展」	3月2日（火） ～31日（水）	
テ ー マ 展 示	読み聞かせおすすめ絵本 （小学校低・中・高学年）	通年	図書館内
	そらとぶふうせん	4月1日（水） ～5月5日（火・祝）	
	ティーンズ A.L.C第7号	4月1日（水） ～7月24日（金・祝）	
	日本の映画っていいね！2020	4月1日（水） ～8月30日（日）	
	読み聞かせ春のおすすめ絵本 （小学校低・中・高学年）	4月1日（水） ～5月31日（日）	
	いきいき展示コーナー「入学おめでとう」	4月1日（水） ～5月5日（火・祝）	
	ふくろうのもりコーナー 「第12回MOE絵本屋さん大賞」	4月1日（水） ～8月26日（水）	
	ふくろうのもりコーナー「まなの本棚」	4月1日（水） ～8月30日（日）	
	本屋大賞2020	4月1日（水） ～8月30日（日）	
	鉄腕アトム	4月1日（水） ～8月30日（日）	
	読み聞かせ夏のおすすめ絵本 （小学校低・中・高学年）	6月2日（火） ～8月30日（日）	
	夏のおすすめ本（小学校低・中・高学年）	7月1日（水） ～8月30日（日）	
	夏のおすすめ本（YA）	7月1日（水） ～8月30日（日）	
	感染症を知ろう どうなるアフターコロナ	7月1日（水） ～9月15日（火）	
	のりもの集まれ！	7月1日（水） ～10月22日（木）	
	トイレの絵本	7月1日（水） ～10月31日（土）	
	戦後75年	7月25日（土） ～9月15日（火）	
	いきいき展示コーナー「体を動かすこと大好き！」	8月1日（土） ～9月30日（水）	
	青少年によい本をすすめる県民運動	8月10日（月・祝） ～11月6日（金）	
	ふくろうのもりコーナー「街道関連の本」	8月27日（木） ～11月18日（水）	

豪雨災害を知ろう	9月1日(火) ～11月29日(日)
読み聞かせ秋のおすすめ絵本 (小学校低・中・高学年)	9月2日(水) ～11月29日(日)
ハロウィン	9月4日(金) ～10月31日(土)
秋だから図書館へいこう	9月4日(金) ～11月17日(火)
ふくろうのもりコーナー 「敬老の日読書のすすめ2020」	9月16日(水) ～11月18日(水)
ふくろうのもりコーナー 「陽気なシニアが地球を回す！」	9月20日(日) ～12月27日(日)
いきいき展示コーナー 「レッツエンジョイクッキング」	10月6日(火) ～12月3日(木)
子どもの本の会「星野道夫」	10月9日(金) ～11月11日(水)
ブックピクニック	10月27日(火) ～11月17日(火)
わたしの一押し本	11月1日(日) ～12月3日(木)
人権	11月1日(日) ～12月22日(火)
子どもの本の会「ゆのきさみろう」	11月12日(木) ～12月9日(水)
クリスマス2020	11月18日(水) ～12月25日(金)
数字の本	11月18日(水) ～3月31日(水)
お正月	11月20日(金) ～1月13日(水)
お金と渋沢栄一	12月1日(火) ～3月31日(水)
読み聞かせ冬のおすすめ絵本 (小学校低・中・高学年)	12月2日(水) ～2月28日(日)
いきいき展示コーナー 「さわってみようコンピュータ・タブレット」	12月10日(木) ～2月28日(日)
子どもの本の会 「2020年に出会った私の好きな子どもの本」	12月10日(木) ～3月10日(水)
ふくろうのもりコーナー 「若い人に贈る読書のすすめ2021」	12月23日(水) ～3月31日(水)
ふくろうのもりコーナー「鬼大集合」	1月5日(火) ～3月31日(水)
ふくろうのもりコーナー 「愛知県ゆかりの作家特集！」	1月5日(火) ～3月31日(水)
思わず手にしたくなる本(ジャケ読み)	1月7日(木) ～3月30日(火)
ねえ、この本読んだ？	3月2日(火) ～31日(水)
いきいき展示コーナー「入学おめでとう」	3月2日(火) ～31日(水)
いきいき展示コーナー「旅立ちの君へ」	3月2日(火) ～31日(水)
読み聞かせ春のおすすめ絵本 (小学校低・中・高学年)	3月2日(火) ～31日(水)
ティーンズ A.L.C第8号	3月2日(火) ～31日(水)
子どもの本の会「平成生まれの名作絵本」	3月11日(木) ～31日(水)

○イベント・講座・講演会・読み聞かせ

事業名		実施内容	開催日	参加者	会 場
春の子ども読書週間	ヨムキッズweek2020	親子を中心に図書館の本を貸し出し、ふれあいの森で読むブックピクニックを計画しました。	4月23日(木)～5月10日(日)	中止	ふれあいの森
	市民活動団体によるブース	市民活動団体のブースなどで市民交流を計画しました。	5月10日(日)	中止	美和文化会館1階ロビー
	紙芝居リレー	紙芝居リレーを計画しました。	5月10日(日)	中止	美和文化会館1階ロビー
	鉄道模型ジオラマ展	尾張鉄道倶楽部の方々に来ていただき、鉄道模型をミニチュアの景色の中、走らせる計画をしました。	5月10日(日)	中止	美和文化会館アートスペースM
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に来ていただき、一般の方が持ってきたおもちゃの修理を計画しました。	5月10日(日)	中止	美和文化会館2階ロビー
ボランティア養成講座		図書館スタッフによる図書修理を学ぶ講座を計画しました。	6月10日・17日 各日水曜日	中止	美和文化会館会議室
七夕飾り		笹と短冊を用意し利用者に願い事を書いていただき、笹に飾る計画をしました。	6月27日(土)～7月7日(火)	中止	美和文化会館1階ロビー
本のお楽しみ袋		図書館員おすすめの図書3冊を書名がわからない状態で袋に入れ、袋ごと貸出を行いました。	7月1日(水)～7日(火)	18袋	図書館内
学習室開設		夏休み期間中、学習室の開設を計画しました。	7月18日(土)～8月31日(月)	中止	美和文化会館アートスペースM
映画上映会		図書館所蔵の子ども向け、大人向け映画の上映を計画しました。	7月23日(木・祝)	中止	美和文化会館多目的ホールA B C
読書ラリー		図書貸出1回につき、スタンプを1回押すスタンプラリーを計画しました。	7月～8月	中止	図書館内
オリジナルトートバッグイラスト募集		オリジナルトートバッグ作成のため、図書館利用者より広くイラストを募集しました。	8月2日(日)～9月30日(水)	66名	図書館内
オリジナルノートづくりの動画配信		図書館スタッフによるオリジナルノートづくりの動画を配信しました。	8月8日(土)	—	図書館オリジナルHP
ちいさなブックリサイクル		除籍された図書館の本を再利用していただき、本との出会いの機会を作りました。	8月・10月・12月・3月	—	美和文化会館1階ロビー
雑誌譲渡会		リサイクルとなる雑誌の譲渡会を行いました。	9月27日(日)、11月1日(日)、2月27日(土)	—	美和文化会館1階ロビー

歴史講演会		演題：「佐屋路・津島街道の今昔」 講師：石田泰弘氏	10月25日(日)	42名	美和文化会館 多目的ホール A B C
ヨムキッズweek		図書館所蔵の本を貸し出し、ふれあいの森で読書をするブックピクニックを行いました。	10月27日(火) ～11月15日(日)	—	ふれあいの森
トワイライトライブラリーカフェ		愛知室内オーケストラのミニコンサートの後、「東海豪雨を知ろう」をテーマに名古屋大学減災連携研究センター田代喬氏の講演を行いました。	10月31日(土)	20名	美和文化会館 1階ロビー
図書館総合展ポスターセッション		図書館総合展のオンライン開催にあたり、ポスターセッション「尾張四観音の図書館リレー」を名古屋市図書館と連携して行いました。	11月1日(日) ～30日(月)	—	図書館総合展 WEBサイト
秋 だ か ら 図 書 館 へ い こ う	わたしの一押し本展示	利用者がかいたおすすめ本の紹介文や読書画の展示を行いました。	11月15日(日)	90名	図書館内
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	シフォンを使ったわらべうた、大型絵本、大型紙芝居、工作を行いました。	11月15日(日)	119名	ふれあいの森
	みわおもちゃ病院	「みわおもちゃ病院」の方々に来ていただき、一般の方が持ってきたおもちゃの修理を行いました。	11月15日(日)	46件	美和文化会館 2階ロビー
	鉄道模型ジオラマ展	尾張鉄道倶楽部の方々に来ていただき、鉄道模型をレールやミニチュアの景色の中、走らせました。	11月15日(日)	250名	美和文化会館 多目的ホール A B C
	ごちそうマルシェ	キッチンカーや手作りショップのマルシェを行いました。	11月15日(日)	—	ふれあいの森
	ミニ鉄道乗車体験	「こだま鉄道」のミニ鉄道の乗車体験を行いました。	11月15日(日)	200名	ふれあいの森
	古本市	「古本屋ぼらん」、「古書と本の店徒然舎」が絵本を中心に販売を行いました。	11月15日(日)	—	美和文化会館 1階ホワイエ
	Go!Go!メルヘンハウス	「メルヘンハウス」が絵本を中心に販売を行いました。	11月15日(日)	—	美和文化会館 2階ロビー
学習スペース		開館日の貸し切りイベントのない日に、2階ロビーへ新たに学習できるスペースを設置しました。	12月1日(火) ～1月13日(水)、 3月2日(火) ～31日(水)	—	美和文化会館 2階ロビー
シルバーカレッジ		図書館スタッフを派遣し、あま市シルバーカレッジ「読書で交流～本を読む・伝える楽しさ～」を計画しました。	12月8日(火)	中止	美和文化会館 内シルバーカレッジ教室

シルバーカレッジ マスター講座		図書館スタッフを派遣し、あま市シルバーカレッジマスター講座で「脳トレで免疫力アップ！」を行いました。	12月15日・22日 各日火曜日	60名	美和文化会館 内シルバーカ レッジ教室
本の福袋		図書館員おすすめの本3冊を袋詰めして貸出しを行いました。	1月5日(火) ～13日(水)	34名	図書館内
オリジナルトート バッグをもって本 を借りようキャン ペーン		本を借りて当たりレシートを3枚集めた方に先着順でプレゼントしました。	1月5日(火) ～3月31日(水)	227名	図書館内
昔のこし写真展		市民のみなさまからご提供いただいたあま市の昭和以前の風景の写真を展示します。	1月26日(火) ～3月31日(水)	—	図書館内
図書館員のおすす めセット		臨時休館あけに合わせて図書館員が選んだ本2冊を一般向け12セット、児童向け12セットを貸出しました。	3月2日(火) ～10日(水)	24名	図書館内
「シダレザクラ開 花予測クイズ 2021」		ふれあいの森「シダレザクラ」の開花日を予測していただき、正解者にクリアしおり（七宝焼アートヴィレッジオリジナルグッズ）をプレゼントしました。	3月9日(火) ～20日(土・祝)	43名	美和文化会 館・図書館・ ふれあいの森
国立国会図書館レ ファレンス協同事 業へ参加		図書館カウンターで受ける質問をレファレンス事例としてレファレンス協同事業DBへ登録し、広く利活用しています。一般公開件数、被参照件数などの基準を満たし、感謝状をNDLよりいただきました。	4月1日(水) ～3月31日(水)	—	図書館内、 WEB
ワーク シ ョ ッ プ	一日図書館員	講師：図書館スタッフ 小学4年生から中学生を対象に図書館の職場体験を計画しました。	7月29日(水) ・30日(木)	中止	美和文化会館 会議室 図書館内
	親子で紙ヒコーキを飛ばそう！	講師：神田吉男氏 紙ヒコーキのデモンストレーション、3種の紙ヒコーキ作りと飛行距離競い、親子で紙ヒコーキのキャッチボール等を計画しました。	8月2日(日)	中止	美和文化会館 多目的ホール ABC
	「本のカバーを作ろう」	紙袋など身近な材料で、ブックカバーを作る計画をしました。	8月23日(日)	中止	美和文化会館 会議室
	ウィキペディアタウンinあま	10月31日(土)トワイライトライブラリーカフェ「東海豪雨を知ろう」で学んだ内容をウィキペディアへ編集しました。	11月7日(土)	4名	美和文化会館 会議室
	しめ縄づくり	講師：竹田武夫氏 一般を対象に、お正月を彩る「しめ飾り」を作成しました。	12月20日(日)	11名	美和歴史民俗 資料館

	ちいさなワークショップ 「カラフルだるまさん」	カウンター周りで子ども向けの短時間ワークショップを行い、作品の展示をしました。	1月5日(火) ～3月31日(水)	—	図書館内
--	----------------------------	---	----------------------	---	------

○おはなし会

事業名	実施内容	開催日または 延べ回数	参加者	会 場
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	1回	35名	美和文化会館 1 階 ホワイエ
グー・チョキ・パー のおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉遊び、手遊び、ストーリーテリング等	3回	延100名	ふれあいの森、美和文化会館 1 階 ホワイエ
グー・チョキ・パー 夏のスペシャル	スライド上映・ブラックパネルシアター・工作等	7月18日(土)	中止	美和文化会館 多目的ホールA B C
グー・チョキ・パー キッズのおはなし会	子どもによる子どものためのおはなし会	8月22日、10月24日、3月27日 各日土曜日	中止 39名 中止	美和文化会館 多目的ホールA B C
ペロリのおはなし会	ストーリーテリング (語りの会ペロリ)	8月29日、2月27日 各日土曜日	中止	図書館内
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	2回	延33名	美和文化会館 1 階 ホワイエ、多目的 ホールB C
グー・チョキ・パー のお正月あそびをしよう！	けん玉や独楽などのお正月あそびや読み聞かせ・工作等	1月16日(土)	中止	美和文化会館 多目的ホールA B C

○乳幼児・児童サービス

事業名	実施内容	回数	実施者	会 場
ブックスタート	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌います。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行ない、ブックスタートパックを手渡しました。	8回	171名	美和保健センター ※4月・5月は新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等	—	中止	子育て支援センター つどいの広場 七宝北部保育園 正則保育園 篠田保育園 七宝こども園 ひかりこどもえん 美和こども園 青山幼稚園 中川幼稚園 木田幼稚園

○学校支援サービス

事業名	対 象	開催日	参加者	会 場
図書館見学	美和小学校2年生	11月26日(木)	69名	図書館内、美和文化会館大ホール

○図書館利用者数・年間貸出冊数（点数）

図書館	利用者数（前年）	年間貸出点数（前年）	蔵書点数
美和図書館	28,840名（56,740名）	117,206点（218,082点）	123,771点

※ これらの講座・イベント等の開催により、図書に親しむ機会を提供しました。

- 令和2年度の実績を踏まえながら、令和3年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

■文化会館施設整備事業

市民が安全かつ快適に文化活動を実施できるよう、次の整備工事を実施しました。

○美和文化会館中央監視設備更新工事

- ・事業内容 美和文化会館の中央監視設備は、事務室内及び各リモートステーションにて空調及び電気に関する情報収集管理を行う設備で、老朽化が著しいため設備の更新工事を行いました。

- ・事業費 28,413,000円

※ この工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

- 令和3年度も市民が安全かつ快適に文化活動ができるよう、文化会館施設整備を進めます。

(3) スポーツ課

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部教室は中止しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室 (前期)	5月19日～ 7月28日 火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	中止	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室 (後期)	10月6日～ 12月15日 火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	10組	
親子体操教室①	10月6日～ 1月12日、 3月23日 火曜日	甚目寺 総合体育館	7回	親子	17組	
親子体操教室②	10月13日～ 12月15日、 3月9.16日 火曜日	甚目寺 総合体育館	7回	親子	18組	
親子体操教室③	10月13日～ 12月15日、 3月9.16日 火曜日	甚目寺 総合体育館	7回	親子	11組	
ボクシングエクササイズ教室	5月19日～ 6月23日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	中止	ボクシングエクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施予定でした。
肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	10月20日～ 11月24日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	13名	家庭でもできるストレッチを行い健康な身体づくりを築く目的で実施しました。
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月1日～ 12月10日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳以上	9名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～ ①	10月1日～ 12月10日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	子どもの成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～ ②	10月1日～ 12月10日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	4名	
健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月3日～ 11月21日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。

小学生夏休みスポーツ教室 (団体スポーツ教室)	7月22日～ 7月31日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	中止	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施予定でした。
小学生夏休みスポーツ教室 (団体スポーツ教室)	7月24日～ 8月28日 金曜日	美和公民館	5回	小学生	中止	
小学生夏休みスポーツ教室 (フットサル教室)	7月24日～ 8月28日 金曜日	七宝 総合体育館	5回	小学生	中止	小学生を対象にフットサルを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施予定でした。

※ 下半期各教室を開催したことで、市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

● 令和3年度も引き続き、市民ニーズにあった教室を企画していきます。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、まちの活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止しました。

行事・大会名	期日	曜日	実施場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	5月17日	日	美和中学校運動場	中止	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施予定でした。
	6月28日	日	甚目寺総合体育館 野外ステージ	中止	
	7月26日	日	七宝北中学校運動場	中止	
市民歩け歩け会	10月25日	日	余呉湖周辺ウォーキングコース (滋賀県長浜市)	中止	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施予定でした。
ディスクゴルフ大会予選会（美和地区）	未定	日	美和中学校運動場	中止	地域の人たちがディスクゴルフを通じてスポーツへの意欲を高め、市民相互の団結力及び親睦を深めることを目的に予選会及び各地区の成績上位30人を対象に決勝大会を実施予定でした。
ディスクゴルフ大会予選会（七宝地区）	未定	日	七宝北中学校運動場	中止	
ディスクゴルフ大会予選会（甚目寺地区）	未定	日	甚目寺中学校運動場	中止	
ディスクゴルフ大会決勝大会	未定	日	未定	中止	

愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会	12月5日	土	「愛・地球博記念公園」内、周回コース	中止	愛知県内各市町村の交流、市町村合併後の一体化の促進、市民意識の高揚、スポーツの振興を目的として実施予定でした。
市民走ろう・歩こう会	1月24日	日	木曽三川公園東海広場	中止	木曽三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施予定でした。

- より多くの市民が参加したくなるような事業内容を設定していきます。

■社会体育団体育成事業

『あま市スポーツ協会』

スポーツ振興を図るとともに、市民の体力向上及び心身の健全な発達に寄与することを目的とし、市のスポーツ振興を積極的に行っている「あま市スポーツ協会」に対し補助金を交付しました。

○あま市スポーツ協会補助事業

- ・競技種目事業（市民大会：9種目9大会、講習会：6種目7事業）
- ・令和2年度あま市スポーツ協会研修会
日 時：10月17日(土)
会 場：美和公民館 講堂兼体育場
参加者数：47人
- ・広報誌「スポーツあま」発刊

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

- ・競技種目事業（市民大会：9種目9大会、講習会・スポーツ教室：3種目3事業）
- ・令和3年あま市スポーツ協会総合開会式及びスポーツ講習会
日 時：2月21日(日)
会 場：甚目寺公民館 大ホール

『あま市スポーツ少年団』

スポーツを通じて青少年のスポーツ振興を図るとともに、心身の健全な育成に寄与することを目的とし、市のスポーツ少年団振興を積極的に行っている「あま市スポーツ少年団」に対し補助金を交付しました。

○あま市スポーツ少年団補助事業

- ・広報誌「スポーツあま」発刊

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

- ・令和2年度あま市スポーツ少年団本部指導者等研修会
日 時：未定
会 場：七宝総合体育館
- ・令和2年度あま市スポーツ少年団本部交流会
日 時：1月16日(土)
会 場：七宝総合体育館
- ・令和2年度あま市スポーツ少年団本部卒団式
日 時：3月6日(土)
会 場：美和文化会館 大ホール

『あまスポーツクラブ』

誰もが生涯を通じて気軽に参加でき、地域交流を深め、市民の健康を増進することを目的とし、市民のスポーツ振興及びレクリエーションを積極的に行っている「あまスポーツクラブ」に対し補助金を交付しました。

○あまスポーツクラブ補助事業

- ・年間講座（20講座）、特別講座（3講座）
- ・2020年度あまちゃんラージボール卓球大会
日 時：3月14日（日）
会 場：甚目寺総合体育館 メインアリーナ
参加者数：195人
- ・2020年度ドッジビー交流大会
日 時：3月20日（土）
会 場：美和公民館 講堂兼体育場
参加者数：25人

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

- ・走り方講座
日 時：4月25日（土）
会 場：七宝北中学校 運動場
- ・2020年度春季あまちゃんラージボール卓球大会
日 時：5月10日（日）
会 場：甚目寺総合体育館 メインアリーナ
- ・バレーボールクリニック
日 時：7月30日（木）
会 場：七宝総合体育館 アリーナ

- 各団体について、スポーツ振興を図る観点からみても、市、団体の積極的な連携、協力が不可欠と考えられます。各団体と市が協力し合いながら、補い合い、共通の目的のために事業に取り組む必要があります。

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

事業名	期日	実施場所	参加者数	内容
夏休み学校プール開放事業	7月21日～8月4日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	中止	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施予定でした。

- 令和3年度も児童生徒の体力向上と健康増進に寄与する事業を実施していきます。

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○甚目寺総合体育館 移動式バスケットゴール設置事業

- ・事業内容 平成3年度の開館当初より設置していましたが、28年経過し保守点検ができない状態でしたので、利用者が安全・安心に利用していた

だくために購入しました。なお、2対のうち、1対は令和元年度に購入（更新）しており、令和2年度に残る1対を更新しました。

・購入金額 7,656,000円

○七宝総合体育館 体育施設用ワイヤレスポータブルアンプ購入

・事業内容 スポーツ課では所有しておらず、行事の都度他課から借用していたので購入しました。

・購入金額 399,212円

○七宝総合体育館 排水管修繕工事設計業務

・事業内容 地盤沈下により七宝総合体育館北側の排水管が陥没し、正常な排水が行えない状況であることから、緊急修繕工事を実施するにあたり、設計業務を先行して実施しました。

・事業費 495,000円

○美和グラウンド ナイター照明スイッチ更新工事

・事業内容 現在のコイン式照明設備が廃盤になり、故障時に対応ができないため、コイン不要なスイッチ式に更新しました。

・事業費 1,199,000円

○七宝鷹居グラウンド及び七宝北中学校 ナイター照明スイッチ更新工事

・事業内容 現在のコイン式照明設備が廃盤になり、故障時に対応ができないため、コイン不要なスイッチ式に更新しました。

・事業費 1,188,000円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

● 令和3年度も市民が安全かつ快適にスポーツ活動ができるよう、体育施設整備を進めていきます。

■あま市スポーツ推進計画の策定

○進捗状況

令和2年度の事業計画では、地方スポーツ推進計画に精通している方を講師として招き、団体・組織・市関係部署の勉強会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。しかし、推進計画を少しでも進めるため、以前に静岡県磐田市でスポーツ推進計画実行委員を務められた至学館大学健康スポーツ科学科 新井忠教授と事前打ち合わせを実施しました。

なお、新井教授はあま市スポーツ推進計画の策定委員として了解と内諾をいただいております。

スポーツ推進計画を策定している市町村への調査、各団体・組織代表者へ計画の事前周知（案内文書送付）及び各団体・組織の会議での計画策定の概要説明を実施したことにより計画策定の足掛かりとすることができました。

また、スポーツ推進計画策定委員会設置要綱を策定しました。

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校での食に関する指導

児童生徒の食への興味・関心の高揚、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭が指導計画を作成し、各学校で学級担任とT T授業を行いました。

- ・給食を生きた教材として活用し、指導しました。
- ・毎月、献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。
- ・毎日学校に出向いて直接指導するかわりに、栄養教諭が給食放送原稿や、給食について紹介する教材データを作成しました。

○学校での健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

学校保健委員会

学校名	参加日
七宝小学校	7月18日(木)
美和小学校	7月13日(月)

給食試食会

学校名	参加日	参加者数
美和中学校	11月17日(火)	14名
甚目寺中学校	11月5日(木)	25名

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
令和2年4月2日(木)	5月分献立検討会
4月14日(火)	5月分物資選定委員会
4月28日(火)	6月分献立検討会 書面会議
5月13日(水)	6月分物資選定委員会
6月2日(火)	7月分献立検討会 書面会議
6月10日(水)	7月分物資選定委員会
6月30日(火)	第1回学校給食センター運営委員会
7月3日(金)	9月分献立検討会
7月15日(水)	8月9月・後期分物資選定委員会
9月1日(火)	10月分献立検討会
9月8日(火)	10月分物資選定委員会

10月2日（金）	11月分献立検討会 書面会議
10月13日（火）	11月分物資選定委員会
10月30日（金）	12月分献立検討会 書面会議
11月11日（水）	12月分物資選定委員会
11月27日（金）	1月分献立検討会 書面会議
12月9日（水）	1月分物資選定委員会
12月22日（火）	2月分献立検討会 書面会議
令和3年1月12日（火）	2月分物資選定委員会
1月29日（金）	3月分献立検討会 書面会議
2月5日（金）	あま市給食における食物アレルギー対応検討委員会 書面会議
2月9日（火）	3月分物資選定委員会
2月16日（火）	第2回学校給食センター運営委員会書面会議
2月26日（金）	4月分献立検討会
3月12日（金）	4月・前期分物資選定委員会

○あま市学校給食センターの施設見学及び試食

あま市立小学校、中学校及び保育園の児童生徒及び園児の保護者を始め、より多くの地域住民等が学校給食の趣旨等について理解を深めるとともに、未来を担う児童等の心身の健全な発達に寄与するため、あま市学校給食センターの施設見学及び試食を実施しました。

・地域住民

日時	参加人数	目的	区分
8月31日（月）	11人	施設の把握及び参加者の知見向上を図るため	施設見学及び試食
10月26日（月）	13人	教育関係施設の視察	施設見学及び試食
12月17日（木）	16人	給食の試食	施設見学及び試食

・課外授業

公立小学校及び保育園の課外授業の一環として、施設見学を受け入れました。

小学校

日時	学校名	参加人数
10月27日（火）	美和小学校	73人
11月4日（水）	美和東小学校	69人

保育園

日時	保育園名	参加人数
9月3日（木）	正則保育園	27人
9月15日（火）	五条保育園	24人
9月16日（水）	七宝北部保育園	29人
9月17日（木）	新居屋保育園	32人
10月2日（金）	昭和保育園	33人
10月5日（月）	昭和保育園	32人
10月8日（木）	大花保育園	36人
10月12日（月）	篠田保育園	38人
10月15日（木）	萱津保育園	23人
10月30日（金）	聖徳保育園	23人

※ 各学校では、学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭が各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり話をしたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

栄養教諭が、各学校の健康教育の取組に関わることで、食を話題として取り上げる機会を増やすことができ、児童生徒・教職員が食への関心をもつことができました。また、ウェブサイトにも家庭でも手軽に簡単に野菜が摂取できるあま市の給食レシピ動画、朝ごはんやアレルギー疾患の子どものための災害の備えについてのパンフレットを掲載しました。

「あま市学校給食における食物アレルギー対応の基本方針」と「あま市給食における食物アレルギー対応マニュアル」を改定し、安全性を最優先して、食物アレルギー有する児童生徒等にも給食を提供しました。また、食物アレルギーの現状を把握し、関係機関とも情報を共有しました。

- 令和3年度も引き続き、各学校の健康教育の取組に積極的に参加し、児童生徒及び教職員に加え、保護者の食への興味・関心を高めることで、食育を推進していきます。

■新学校給食センター整備事業

旧学校給食センター（3か所）の機能集約に伴い、稼働終了となる旧学校給食センター3施設の解体工事を次のとおり実施しました。

○旧学校給食センター解体工事

令和元年9月から新学校給食センターの新築に伴い、稼働終了となる旧学校給

食センター3施設の解体工事を推進しました。

- ・事業内容 旧学校給食センター3施設の解体工事
(※令和2年度及び3年度の継続事業)
- ・事業費 326,591,100円
- ・進捗状況 ① 旧美和学校給食センター 完了 : 令和3年3月17日
② 旧甚目寺学校給食センター 着手 : 令和3年1月29日
③ 旧七宝学校給食センター 意見交換会 : 令和3年3月1日
(※旧安松区及び桂区の市民11人が参加。)
- ・出来高 32.8% (契約金額に対する%)

○旧学校給食センター解体発注者支援業務

旧学校給食センター3施設の解体工事の円滑な推進のため、専門的知識を活用しました。

- ・事業内容 設計図面と設計書の検証支援等業務
- ・事業費 1,345,300円

※ 旧学校給食センター3施設の解体工事に着手し、美和学校給食センターの解体工事を完了することができました。

- 引き続き、旧学校給食センターの解体工事を推進していきます。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	伊藤 尚美（元愛西市立開治小学校長）
--------	--------------------

令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症」という未知の病気の対応に全集中の年度であった。何が良くて、何が危険なのか。すべての危険に向き合いながらの年度であった。あま市民の健康と文化を守るべく、たくさんの努力をされたことに大変感謝している。

あま市教育委員会は、「あま市教育立市プラン」、「あまっ子宣言」のもとで行われた活動に対して、真摯な姿勢で点検・評価を行い、さらに有意義なものになるように改善に努めてきている。これからも、この姿勢を貫き、外部意見を受け止め、新しい有意義な活動に取り組んでほしい。まだまだ予断を許さない感染症への対策と、あま市民の願いが達成されるように、令和2年度の教育委員会の取組について所見を述べさせていただきたい。

○ 学校教育課について

1 スクールサポーター配置事業

通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒は増加している。その対応はそれぞれ違い複雑になっている。複数の学校で人員の増加が行われた。より質の高い授業を行い、居心地の良い環境を作るためにも大変有効である。これからも、あま市内の学校が連携を取り、必要としているところに、的確に配置されるようにしたいものである。また、スクールサポーターとして、側にいて児童生徒をしっかりと見守ることが大切である。しかし、時には、より高度な指導を必要とする時がある。スクールサポーターにもしっかりとした技術と専門性が必要となってくるであろう。そのための研修等も必要となってくるだろう。

2 二期制

平成19年度から、七宝北中学校において二期制が始まり、平成30年度には、市内全小中学校で実施されることとなった。三学期制を残しつつの二期制について、保護者等への理解には色々苦心もあったと思うが、徐々に浸透してきているのではないだろうか。昨年度は、感染症対策のため休業を余儀なくされた。児童生徒はもちろん、教員、保護者の動揺はかなり大きかったと思う。しかし、二期制の特徴をいかして、スムーズに学期の終始を行うことができた。校長によるアンケートにも肯定的な回答が数々得られている。さらに有効的に活用されることを期待する。

3 教育相談センター事業

「学校教育支援」、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」を3つの柱として行っている事業は、児童生徒の自立目指して積極的に運営されている。

「教育相談活動」では、令和元年度よりも面接件数等は減少しているが、休業を余儀なくされながらも高い件数である。いち早く対応している証であるが、裏を返せば、学校現場は大変苦慮しているということであろう。「痒い所に手が届く」対応をこれからも行っていただきたい。

「不登校などの指導及び支援」では、学校復帰者や中学校卒業後の進学者を生み出すことができている。指導員の皆さんの根気強い支援と、心温まる指導の賜物と思う。児童生徒の一人一人に寄り添い、手厚い支援をこれからも行っていただきたい。また、「子どもの自立を支える親の会」を、4回実施することができた。保護者が不安を独りで抱え込み、さらに不安を募らせることがないように、親身になり、無理のない支援活動を今後も行っていただきたい。

4 小中学校ICT化推進事業

国の「GIGAスクール構想の実現」のため、児童生徒1人1台の端末環境と、高速大容量情報ネットワーク環境の構築がなされた。コンピュータを中心とする情報教育の充実が叫ばれてから久しい。教職員への端末配置、ネットワークの構築に始まり、大型電子黒板や教育ソフトの配置の充実がなされてきた。いよいよ、児童生徒の

一人一人の手元に端末が届き、それにともない、各学校の教室等の環境が整備された。

多額の費用を掛けて整備された機器や環境が、有意義に活用されることをただただ願うばかりである。機器操作の習得のための授業や研修がおこなわれている。厳しい時間の中で、児童生徒や教職員に負担がかからないように今後もしていただきたい。さらに、教師は「授業で勝負」と私は考えている。機器に振り回されることなく、児童生徒の考えやひらめきに共感しながら、活気に満ちた授業を展開して頂けるように願っている。

○ 生涯学習課について

新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの事業が中止もしくは規模を縮小しての開催となった。はつらつとした生活を送るために、開催される事業を楽しみにしていた市民は多くいたことと思う。開催された事業は、感染拡大防止のための対策を取られたし、参加される市民の皆さんも、協力を惜しまなかったことと思う。

令和2年度は、生涯学習推進計画の査定に向けて、部会やアンケート調査が実施された。学習者が学ぶだけでなく、学んだことを社会に還元できるような仕組み作りを目指していく。集まった声を大切に、有意義な計画が立てられるように期待する。

1 シルバーカレッジ事業

令和2年度は、「シルバーカレッジ事業」、「シルバーカレッジマスター講座」、「シルバーカレッジOB会講座」と、各年代や経験ごとに事業が予定された。多くは、中止や延期となったものの、あま市のシルバー世代が参加した。楽しく有意義な生活を送ることができるように、これからも講座の内容等を工夫していただきたい。

2 子ども・若者支援事業

児童生徒や若者の悩み等に対応するため、地域における「あま市子ども・若者相談窓口」が開設された。何回もの実務者会議を経て今に至っている。ひきこもりやニート等、社会生活を営む上で、いろいろな悩みを抱える子どもや若者が増加している。また、SNS等の普及によるトラブルも多い。困ったときに、迷わず相談することができる場所が開設された。頼れる場所となつてほしい。相談件数は少ない方が良いが、適切な指導、支援がされることを願っている。

3 文化財施設整備事業

あま市の文化財の一つ、甚目寺観音の防火改修工事が始まった。節分祭には、多くの方が参拝される。新型コロナウイルス感染症拡大防止や、事故やけがの無いように環境を整備していくことは重要な事である。あま市にはたくさんの資料等が残されている。安心で安全に見学等を楽しむことができるようにしていただきたい。

4 美和図書館事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ゆっくりと本に触れあうことが憚れるようになってしまった。令和元年度よりも、大幅に利用者数等が減少したことは残念である。おすすめの本や新刊、おたのしみ講座等がたくさん紹介されている。落ち着いた雰囲気の中で、ゆったりと過ごす時間が好きである。感染拡大防止に心掛けながら、楽しい講座等がこれからも開催されることを願っている。

○ スポーツ課について

生涯スポーツの観点から、総合型地域スポーツの推進は重要である。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの教室や大会が中止となった。しかし、下半期には、いくつかの教室が開催された。いろいろな年齢層の方がスポーツを楽しむことができた。今後、あま市スポーツ推進計画策定に向けての事業が計画されている。有識者等の意見を伺いながら、弾力的な計画となることを期待している。そして、安心・安全に配慮し、楽しみながら健康増進、体力向上を図ることができるように、企画運営していただきたい。

(1) はじめに

あま市教育委員会の組織、事業、施設設備は、「教育立市」の理念のもと、着実に積み上げられており、困難を極めた令和２年度においても、「あまっ子」の健全なる成長に向けてより確かな教育活動が推し進められてきている。

ここに教育委員会事業を精査し、さらなる発展を期して愚見を申し述べたい。

(2) 学校教育課について

① スクールサポーターの配置事業

近年、発達障がいがある児童生徒の指導支援は、最重要課題となっている。加えて、コロナ禍による学力差が危惧される中、よりきめ細やかな個別の対応が求められている。

本配置事業は、学校現場における多様な指導支援を可能とする極めて有効な取組である。各校への人的配置は、学校の教育力を確実に強化する。教育委員会はもとより、市当局や市議会の深い理解と支援に敬意を表したい。さらに、ＩＣＴ活用をはじめ、学校事務、部活動等、弾力的に人的活用ができるよう期待したい。

② 二期制について

二期制のメリットは、これまでの点検と評価により、明らかになっている。さらに、コロナ禍によって、教育課程の弾力的な運用に極めて有効であることも実証されている。

臨時休業、長期休業中の授業日の設定、学校行事の変更・縮小、そして、学習指導要領による新評価の実施等は、二期制だからこそ柔軟に対応でき、確実に推進できたと考えられる。二期制の効果は、各校の工夫次第でまだまだ見出すことができると考える。教育委員会のリーダーシップのもと、二期制を活用してほしい。

③ 教育相談センター事業について

困難を抱える児童生徒や保護者に対し、適切な相談や温かい支援ができる体制と組織に、一人一人を置き去りににしない市当局・市教育委員会の強い教育信条を感じる。児童生徒本人ばかりでなく、保護者にとっても、さらに、指導支援に苦慮している学校にとっても大変ありがたい事業となっている。学校と相談員が支援の在り方を共有する相談事業や子どもの自立を支える親を励ます会も着実に進展している。寄り添い、励まし、支える取組をさらに前進させてほしいと願う。

④ Ama Teachers College について

コロナ禍で講座の中止が続いたが、ポストコロナにおいては、単なる原状復帰ではなく、新学習指導要領に基づく授業改善や小学校英語学習の授業研究、ＩＣＴによる授業構築等、これからの教育の中心課題を軸に、教職員の指導力と人間力の向上をめざしてほしい。

⑤ 小中学校適正規模等見直し検討事業

将来、児童生徒数は確実に減少する。それに伴い学校間の学習環境の格差が生じてくる。適正規模の学習環境の整備は、避けては通れない大きな問題となりうるのである。しかしながら、未だ、地域・市民の理解は難しい状況にある。

その中であって七宝北中学校の新通学制度は大きな前進ととらえることができる。そして、この前進を契機として、ぜひ、適正規模の学習環境の整備が、将来の市内全校の確かな教育につながることを、地域を交えた話し合い（あま市小中学校あり方を討委員会等）を通して、理解を図ってほしいと願うところである。

⑥ 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）について

あま市小中学校人権教育研究会は、人権課題に真摯に向き合い、実践を積み重ね、児童生徒のよりよい人間関係の構築、学習・生活環境の整備等、数多くの成果を収めてきた。

しかし、コロナ禍や五輪運営を通して、今、多くの人権課題が明らかになった。このことに関心をもつ、または不安を感じる児童生徒は少なくない。そこで、「今」をとらえた人権教育をぜひとも進展させてほしいと願う。あま市だからこそできる「今、これからの人権教育」である。それは、まさに校則をはじめとする学校教育全般の見直しにもつなが

るはずである。あま市の人権教育力をさらに深化していきたい。

⑦ 特色ある学校づくり推進事業について

学校が主体性をもち、独自性を示しながら新たな教育を生み出すことは、児童生徒ばかりでなく、教職員さらには保護者や地域の方々まで活性化することができる。

本推進事業は、学校に関わる全ての人を活かし伸ばす重要な取組であると解する。

本事業の意義を再度確認しながら、もっと素敵な学校づくりに生かしてほしいと願う。

⑧ 学校運営協議会について

教育委員会のリーダーシップによって、学校運営協議会が各校に設置され、地域力を生かした各校の独自の取組が順調に進められている。これからの学校の成長には、地域の「人、もの、こと」が不可欠であることは言うまでもない。地域学校協働活動も含め、本協議会のマンパワーを最大限に活用し、地域とともに成長する学校を創り出してほしいと願う。

⑨ 小中学校 I C T 化推進事業

国の G I G A スクール構想の実現に向け、全小中学校において I C T 化推進事業が迅速に推進されていることに市当局・教育委員会の固い信条と強いリーダーシップを感じる。深く敬意を表したい。学びの I T 化は常に進化が必要である。中長期の意図的・計画的な整備とともに、教職員や児童生徒の活用能力の向上を図る研究を進めていきたい。

(3) 生涯学習課について

前期は各事業において一部中止や変更が続いた。生涯学習事業にとって極めて難しい状況であったが、後期以降、感染防止を施しながら、工夫ある事業を適切に展開されており、担当者の努力に敬意を表したい。

① 公民館事業、シルバーカレッジ事業等について

性別や世代を超えて、人と人との深く関わり合うことで、よりよい人生の学びと喜びを共有する、目的意識を感じる意図的・計画的な事業が設定されている。

② 歴史民俗資料館事業等について

企画展示会や歴史散策事業、講演会、体験講座等など、多くの市民にとって、歴史を身近に感じる事業が運営されている。市民のニーズに応えられるコンテンツが拡充されていることもありがたい取組である。

③ 社会教育施設、社会教育関連施設（含：スポーツ体育施設）

学びの場、避難所としての安全確保の場、さらに、人権尊重の場、男女共同参画を推進する場、感染症対策が実施された安全な場等、多様な視点からの施設設備を見直し、拡充・整備を進めてほしいと願う。

④ 家庭教育推進企業登録制度

企業内で家庭教育推進事業を展開することは、働きながら子育てをする世代にとって意義ある取組であると考え。協力企業の募集とともに、企業内の学びの場をより有意義にするべく、家庭教育読本や人生観豊かな講師の活用等を進めていきたい。

⑤ 子ども・若者支援事業

社会生活を営む上で困難を抱える子どもや若者は年々増加し、社会的な問題となっている。この事実に向き合い、常設の相談窓口や継続的な支援体制を整えていることは、市当局・市教育委員会の一人一人の市民の生活や人生を大切にする教育信条が強く表れていると解する。将来に見通しをもてず困惑する若者にとって大変ありがたい事業である。子どもや若者の社会生活への確かな一歩を踏み出すその背中をおすことは、とても難しい取組があるが、一人一人の思い・願いをもとに是非とも継続支援を積み重ねてほしい。

(4) スポーツ課について

スポーツ事業においても、一部中止や変更があり、混乱の一年であった。しかしながら、各年齢層・性別を超えて、「運動できる喜び」を保証することは、コロナ禍の中で一番に求められている。このことを踏まえ、感染症対策を十分に施したうえで、後期を中心に各種事業の展開がなされていることに関係者の工夫と努力を感じる。

特に、スポーツ教室・行事・大会は、運動する喜びを保証するだけでなく、地域コミュ

ニティの広がりを図り、地域の融合に寄与できる極めて重要な取組である。ポストコロナにおいては、市民がスポーツの素晴らしさを味わい、新たに運動したくなるよう、事業をより工夫し、啓発し、地域スポーツを発展させてほしいと願う。

(5) 学校給食センター課事業について

おたより、試食会、ウェブサイトでの給食レシピ紹介、アレルギー疾患の子どものための災害の備えのパンフレット等、児童生徒・教職員・保護者を対象とした、食生活への興味関心を引き起こす取組を進めており、生涯に係る健康教育の基礎づくりとなっている。

健康・安全教育を推進する取組は年々充実しており、高く評価できる。

(6) おわりに

令和2年度は、コロナ禍によって、教育活動全般に「中止」「延期」「縮小」を余儀なくされる混乱の一年となった。しかし、その中にあって、あま市の教育活動は着実に歩みを進めていることを本報告書の随所で確かめることができた。

特に、学校教育課をはじめ各課ともに、児童生徒、市民の一人一人を見捨てず、大切に育む教育活動を推進するという「軸」があり、まさに「教育立市」が具現化されていることを実感した。

令和3年度においても、未だにコロナ禍は続いている。ポストコロナの道筋がわずかではあるが見えてきているが、果たして、コロナ後はどのような社会になっているのだろうか。仮にこれまでと同じような生活様式に戻れたとしても、明らかに、私たちの見方・考え方、生き方は、コロナ前とは大きく変化していることは誰もが認めるところである。

本報告には、未来の教育への方向性を示す取組が数多く示されている。

本報告を次につなぐためには、やはり、原状復帰はふさわしくない。

大きく変化した社会情勢、意識の変化をとらえ、踏まえ、あま市教育のさらなる創造をめざしていくべきであると考えます。工夫と改善を積み重ねてほしいと心から願う。